

## 2022(令和4)年度 学修行動調査結果報告書

### 1. 調査目的

東京純心大学の教育活動等の改善・充実を図るために、学生の学修行動について明らかにすること

### 2. 調査項目

#### 1) 学修支援・学修環境に対する満足度

- (1) 遠隔による学修における満足度
- (2) 対面による学修における満足度
- (3) 学内に設けられている自主的に学べる場(ラーニングコモンズ、図書館、学生ホール、4F 多目的室、3F 自己学習室、2F 情報処理演習室など)の雰囲気や使いやすさに対する満足度
- (4) 講義・演習・実習で使用する演習室、実習室、ピアノ教室などの設備や物品に対する満足度
- (5) 講義教室の設備(空調・照明を含む)に対する満足度
- (6) 事務職員によるサポートに対する満足度

#### 2) 学修に関して大学からサポートしてほしいこと

#### 3) 学修環境について改善してほしいこと

#### 4) 学修に対する学生自身の姿勢

- (1) 出席状況
- (2) 学修に対する意欲、積極的学修への姿勢
- (3) 他学生とのピアサポート
- (4) 教職員への学修相談

#### 5) 学修時間

- (1) 授業が行われている1週間における、大学に授業の予習・復習・課題への取り組み時間
- (2) 授業が行われている1週間における、大学の授業に関連しない学習への取り組み時間

#### 6) 学修をすすめるために活用している資源

- (1) 学生便覧の活用状況
- (2) Blue の活用状況
- (3) G-mail の活用状況
- (4) 科目別 Google Classroom の活用状況
- (5) ラーニング・ポートフォリオの活用状況
- (6) シラバスの活用状況

#### 7) 学修をすすめるために利用している学内施設

- (1) 図書館(蔵書利用)
- (2) 図書館(3F 第2閲覧室)
- (3) ラーニングコモンズ1(図書館2F 第3閲覧室)
- (4) ラーニングコモンズ2(学食左手手前スペース)
- (5) 学生ホール
- (6) 4F 多目的室
- (7) 3F 自己学習室
- (8) 2F 情報処理演習室

#### 8) 学修環境、学修支援全体を通して改善してほしいこと、望んでいること

### 3. 調査対象(学生数)と回答数

#### 1) 看護学部

	1年生	2年生	3年生	4年生	総数
対象学生数	70	64	69	69	272
回答数	65	49	56	55	225
回答率(%)	92.9	76.6	81.2	79.7	82.7

#### 2) 現代文化学部

	1年生	2年生	3年生	4年生	総数
対象学生数	13	19	27	21	80
回答数	13	18	26	20	77
回答率(%)	100.0	94.7	96.3	95.2	96.3

### 4. 調査方法

Google フォームによるアンケート配信

### 5. 調査期間

#### 1) 看護学部

2022(令和4)年12月13日(火)~2023(令和5)年1月31日(火)

(締め切り日は、2023(令和5)年1月3日(火)に設定したが、締め切り時点で未回答者に対し再度回答を呼びかけた。集計にあたり1月31日までの回答者を結果としてまとめている)

#### 2) 現代文化学部

2022(令和4)年12月9日(金)~2023(令和5)年2月8日(水)

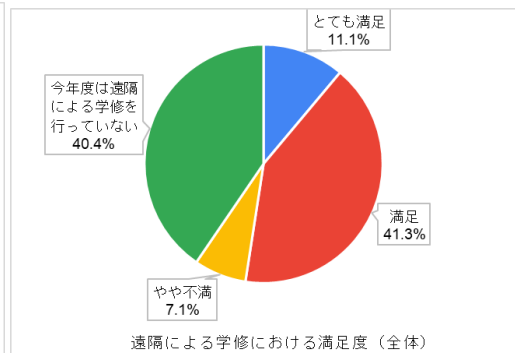
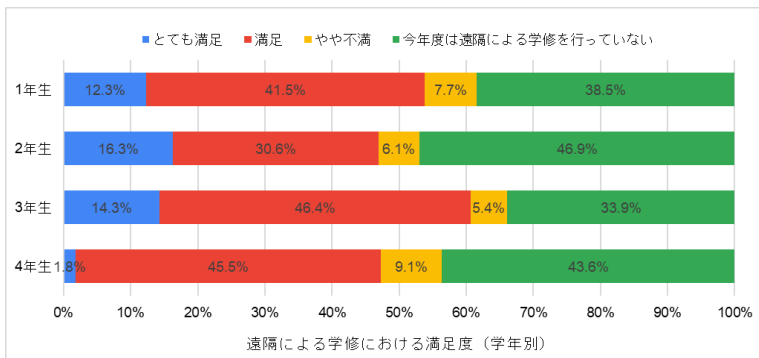
(締め切り日を2023(令和5)年1月18日(水)に設定したが、締切時点で回答率が低く、2月4日の卒論発表会で未回答者に対してその場で回答を呼びかけた。集計は2月8日までの回答者を結果としてまとめている)

### 6. 調査結果

#### 【看護学部】

#### 1) 学修支援・学修環境に対する満足度

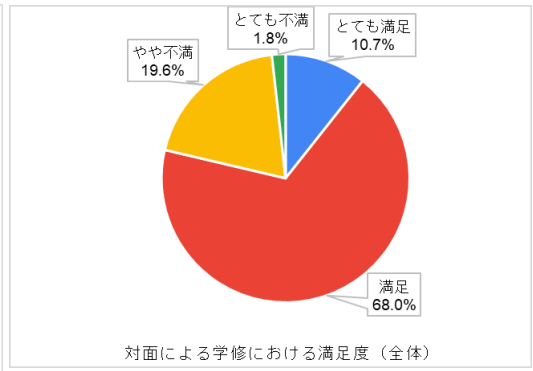
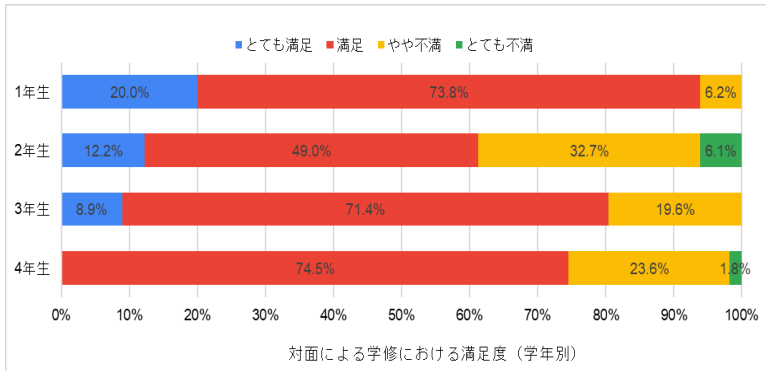
##### (1) 遠隔による学修における満足度



遠隔による学修を行った学生のほとんどは「とても満足」「満足」と回答している。

「やや不満」と回答した割合が最も高かったのは4年生であった。

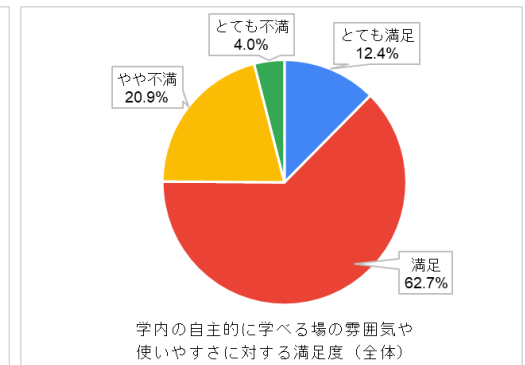
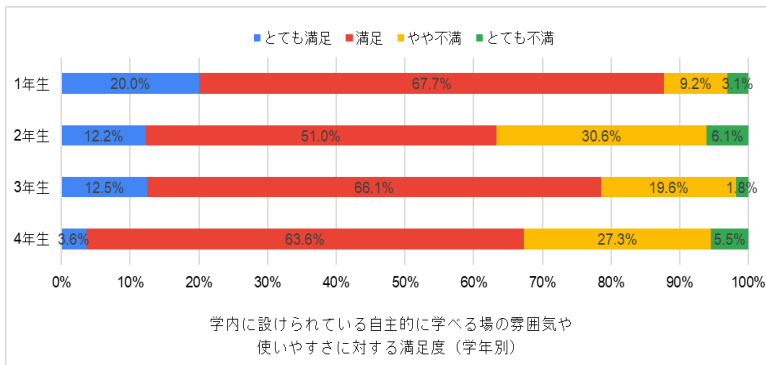
(2) 対面による学修における満足度



全体の約80%が「とても満足」「満足」と回答している。

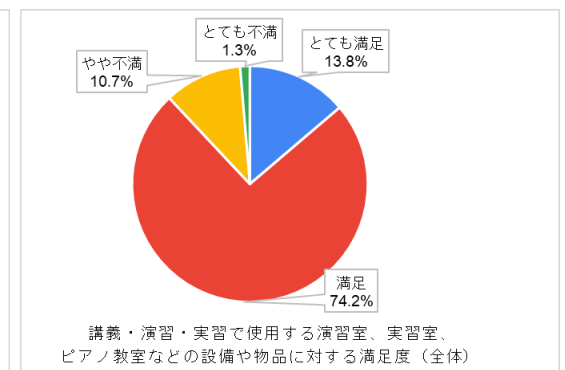
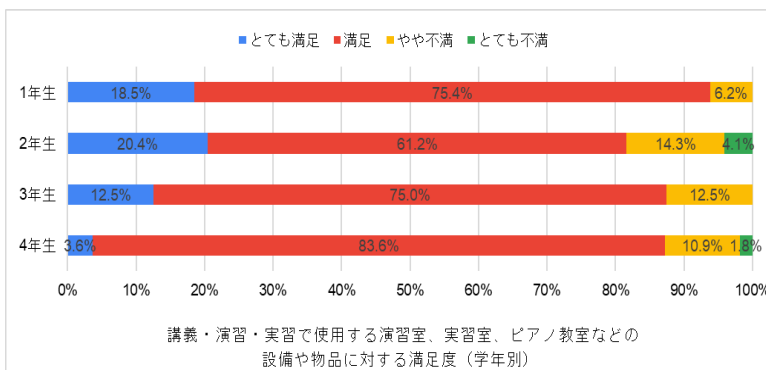
学年別に見ると、2年生が最も満足度が低くなっている。1年生が最も満足度が高い。

(3) 学内に設けられている自主的に学べる場(ラーニングcommons、図書館、学生ホール、4F 多目的室、3F 自己学習室、2F 情報処理演習室など)の雰囲気や使いやすさに対する満足度



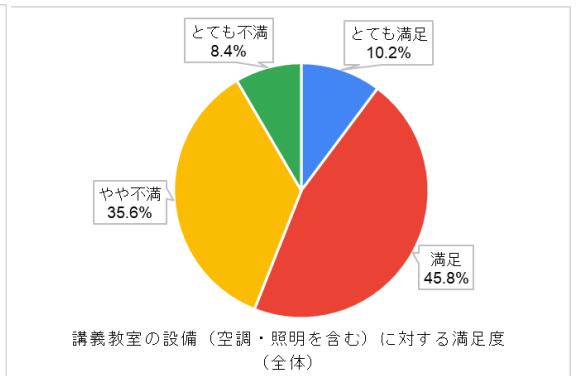
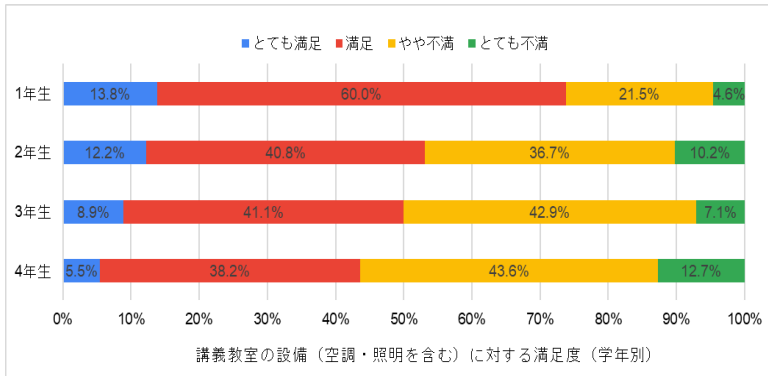
自主的に学べる場の雰囲気や使いやすさには、75%以上が「とても満足」「満足」と回答している。

(4) 講義・演習・実習で使用する演習室、実習室、ピアノ教室などの設備や物品に対する満足度



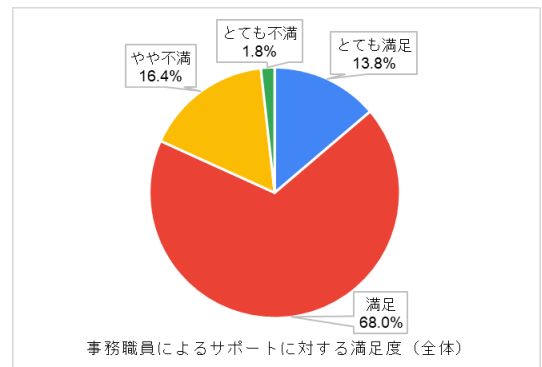
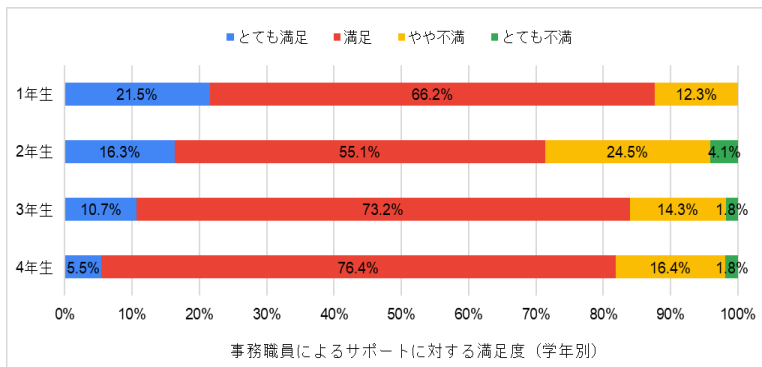
演習室、実習室などの設備や物品に対しては、非常に満足度が高く、約90%が満足している。

(5) 講義教室の設備（空調・照明を含む）に対する満足度



「とても満足」「満足」と回答したものは全体の 56%となっており、演習室や実習室の満足度と比べ、講義室に対する満足度は低くなっている。学年が上がるにつれて、満足度は低下している。

(6) 事務職員によるサポートに対する満足度



事務職員のサポートに対する満足度は、「とても満足」「満足」を合わせて、80%を超えており、非常に高くなっている。

2) 学修に関して大学からサポートしてほしいこと（自由記載）

臨時テストやレポート提出を一定の時期に重なることがあるのですが、分散していただきたい。
外部の先生の講義は試験勉強する時に不便すぎる
試験日を詰めないでほしい。
聖マリアナ医科大学病院の先生方の授業の内容も大学の先生方に質問できるようにして欲しいです。
試験の日程を詰めないでほしい。
時間割の調整
土日や全休の日に振替授業を入れるのはなるべく避けて頂きたいです。
授業予定カレンダーを前のカレンダーにしてほしいです。
勉強の仕方や実習の進め方を一人一人のレベルに合わせた指導をしてもらいたい。
授業資料をわざわざ言わないでも PDF で送って欲しかった

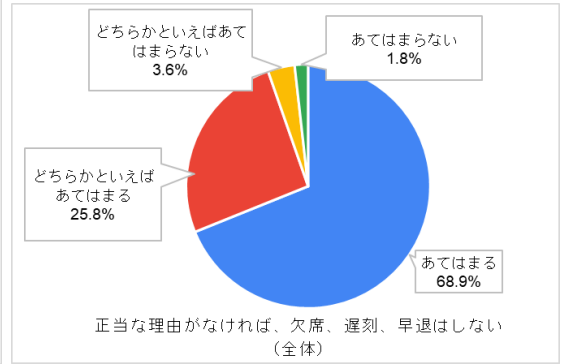
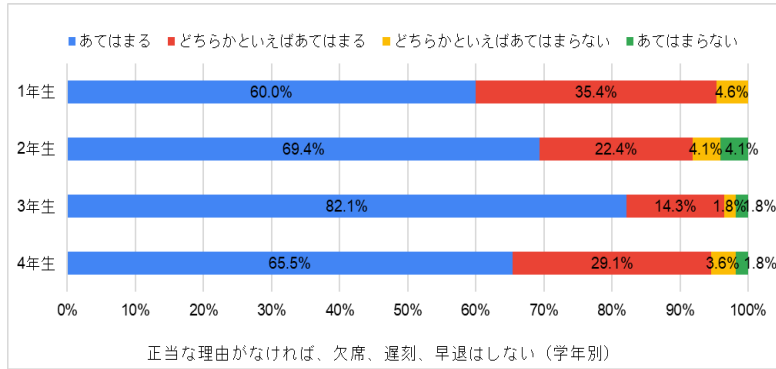
3) 学修環境について改善してほしいこと（自由記載）

エレベーター、空調設備 学生自身で温度調節できるようにしてほしい。
音響も古くて、マイクが切れてしまうことが多すぎる。講師によってはマイクを使用しないで講義を続けてしまうため、後ろの方では学習に支障が出ていると思う。
自席での授業の実施の強制力を高めて欲しい。
マイクの充電がすぐ切れるので予備のマイクや電池を講義室に用意した方がいいと思う

教室の温度
デジタル教科書にしてほしい
冷暖房をつける時に学務課に伝える手間がかかるため大変。
席が移動多くて密になっていることが心配です
教室の温度を寒い時と暑い時の激しいから学生も管理できるようにしたい
2階のpcルームのpcを全て印刷機に接続できるようにして欲しい
空調をもう少し何とかして欲しい。席によって感じ方が全く違ったり、一定に保てなかったりし、学修に集中できない。(暖房が暑すぎて不快など)
教室のスクリーンが見にくい時があります。
講義の途中でテレビが切れることが多々あるので切れないようにしてほしいです
出席カードを紙ではなく機械にタッチ式だと嬉しいと感じる
エアコンを各教室で調節できるようにしてほしい。
スクリーンを映すのに時間がかかるので、映らなくなった時の説明書などを各教室において学務課の方を呼ばなくて済むようにしてほしい。授業時間が削られて時間がもったいない。
机か椅子を高くして欲しいです
教室で暖房を調整できるようにして欲しい
指定席ではなく、自由席にしてほしい
プラスチックの椅子ではなく長時間座っていても疲れのないウレタンで出来た頑丈な椅子に変えて欲しい。
空調管理を一部屋ずつできるようにすること
冷暖房をしっかりとつけてほしい寒くて何も出来ません。
実習中に図書館が閉まっていたので、実習中は開けて欲しい
パソコンの立ち上がりが遅い。
暖房をもっと早くつけて欲しかった
ボックス型自習室が欲しい。
オンライン授業という選択も必要に応じてすべきだと思う
暖房と冷房の切り替えを細かくしてほしい。
パソコンの立ち上げが遅い。
教室の空調設備を部屋ごとの管理にして欲しい。
図書館の2階第3閲覧室の暖房が暖かすぎて頭痛がすることがある。換気扇あるいは換気扇の代わりになるようなものが欲しい
教室の暖房がききすぎて空気が重くて毎回体調悪くなるとくに模試とかテストで教室から出れない時
夏は寒くて冬は暑くなる教室の空調。もう少しだけ各教室で細かな設定ができるようになると嬉しいです。
夏は冷房ききすぎて寒い。冬は暖房効きすぎて暑い。頭がぼーっとして集中できない。
教室の気温が極端のため、寒暖差がひどい。
エアコンの調節がすぐできるよう対策をしてほしいです。
空調の管理があついか寒いかのどちらかで悪い為程よい空調管理にしてほしいです。
座席指定していても移動する人がいるので座席指定を無くしてほしい
暑すぎたり寒すぎたりするので全体のコントロールは変わらずでもいいので空調管理をどうにかして欲しい。
学生ホール   人席の部分明るくしてほしい

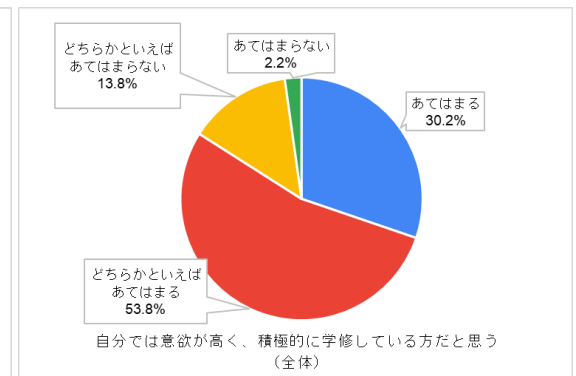
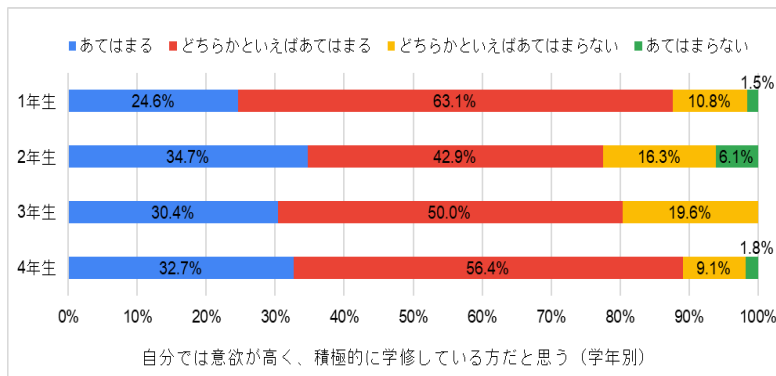
#### 4) 学修に対する学生自身の姿勢

##### (1) 出席状況



全体の約 5.4%は正当な理由なく欠席、遅刻、早退をしていると回答している。2年生にその割合が多い。

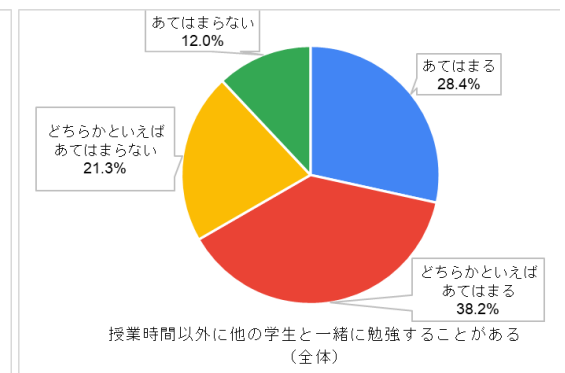
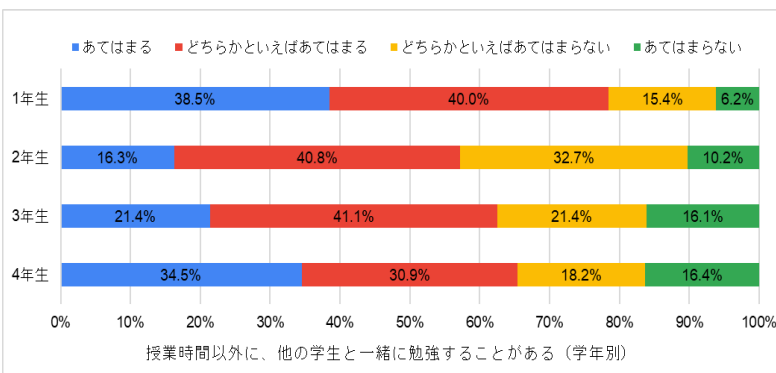
##### (2) 学修に対する意欲、積極的学修への姿勢



全体の約 85%の学生が、「意欲が高く、積極的に学修している方だ」と回答している。

しかしながら、学年別に見ると、2年生がその割合が最も低くなっている。

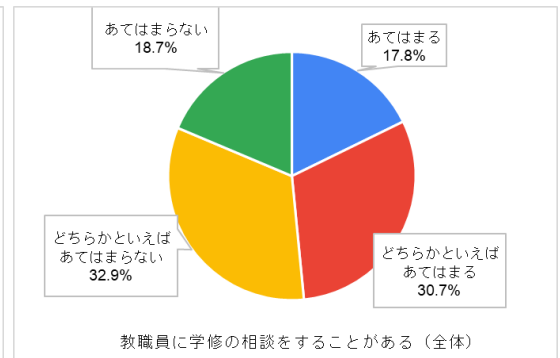
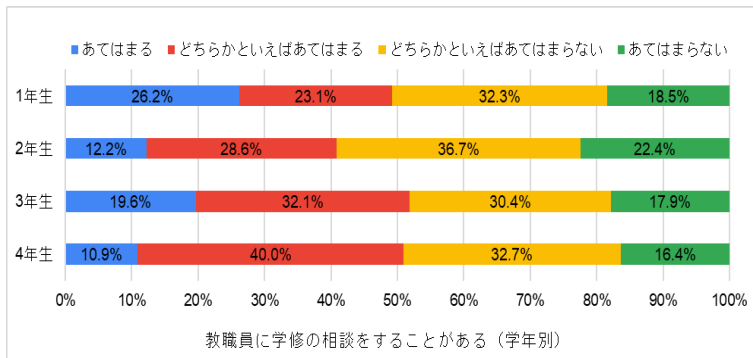
##### (3) 他学生とのピアサポート



全体で見ると約 60%の学生が、「授業時間以外に他学生と一緒に勉強することがある」と回答している。

1年生が最も多く(78.5%)、2年生が最も少ない(57.1%)。その差は約20%強ある。学年の特徴を踏まえた指導が必要と言える。

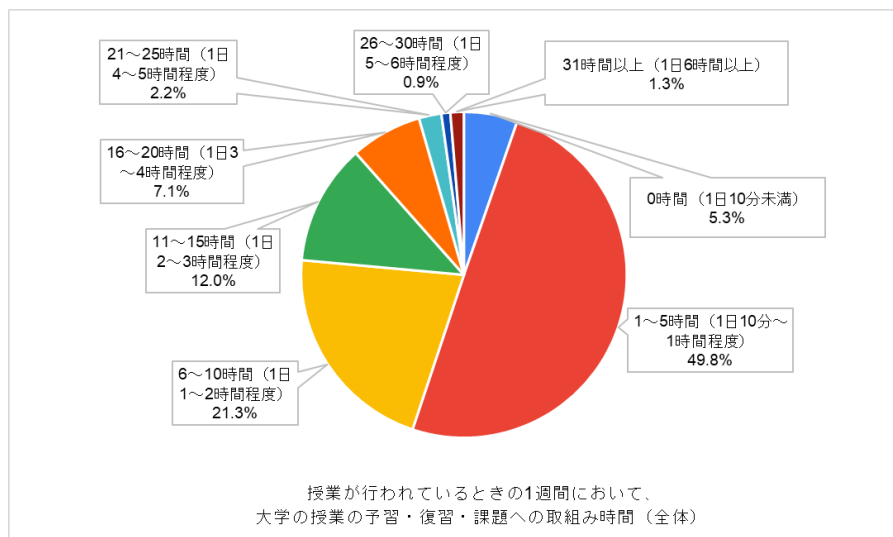
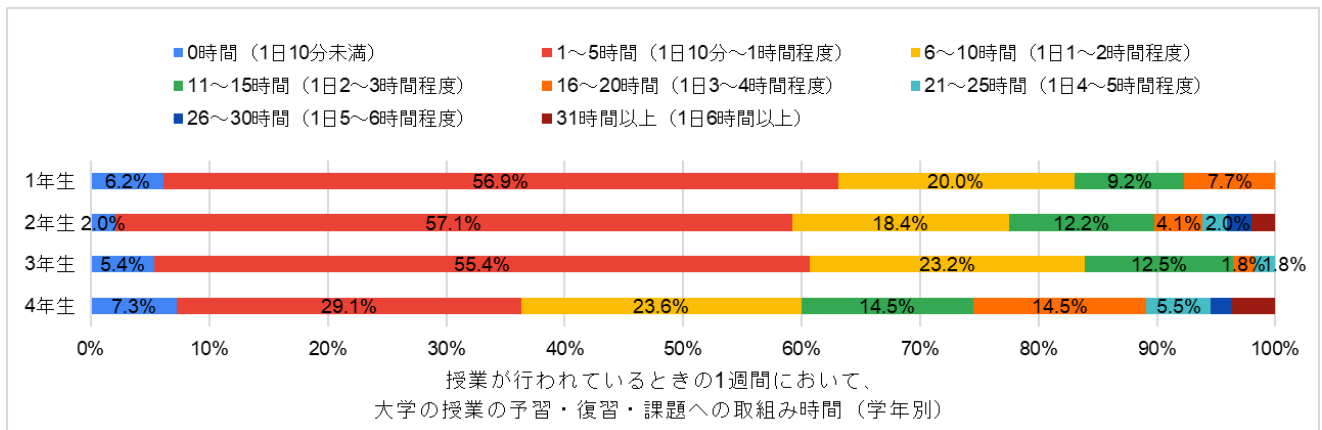
#### (4) 教職員への学修相談



教職員への学修の相談をすることがあると回答した学生は、全体の約50%弱であった。その中でも2年生が最も相談することが少ない。

#### 5) 学修時間

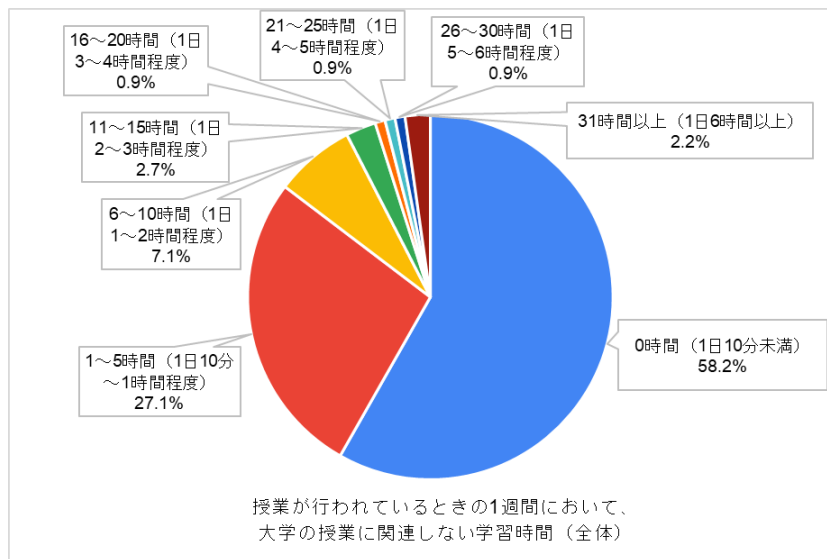
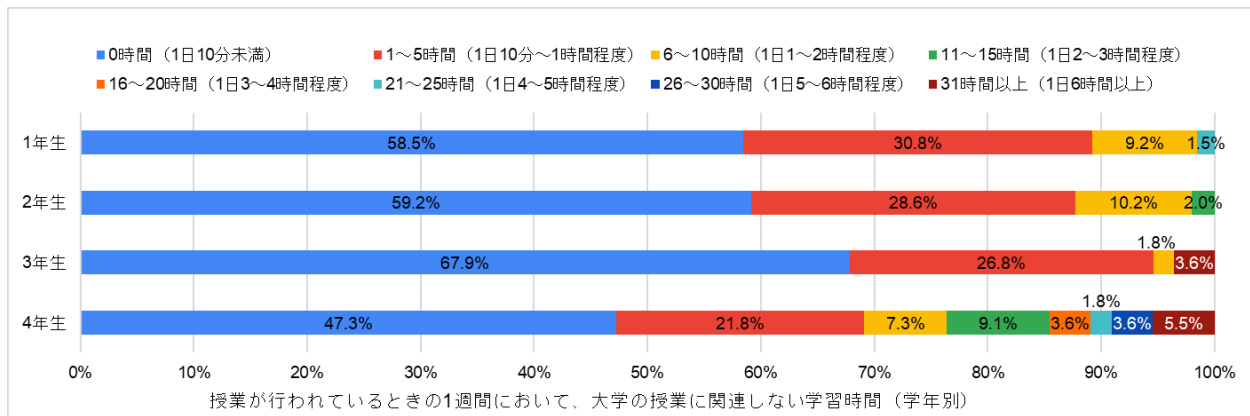
##### (1) 授業が行われている1週間における、大学に授業の予習・復習・課題への取り組み時間



ほぼ半数(約55%)の学生の学修時間は、1日1時間程度以下であった。4年生は、国試に向けて他学年よりも学修時間は長くなっている。しかし、約35%は1日1時間程度以下の学修時間にとどまっている。

多くの大学で採用しているALCS学修行動調査の2020年結果概要\*1によると、授業に関する授業外学修時間の平均は、1年生で1日141分、3年生で122分となっており、本学の学生の学修時間は約半分と大幅に少ない。

(2) 授業が行われている1週間における、大学の授業に関連しない学習への取り組み時間



授業に関連しない学習時間は、約60%の学生が1日10分未満と回答しており、授業に関連しない学習時間も大変短くなっている。4年生は、国試に向けて他学年よりも学習時間は長くなっているものの、1日6時間以上学習している学生は、5.5%にとどまっている。

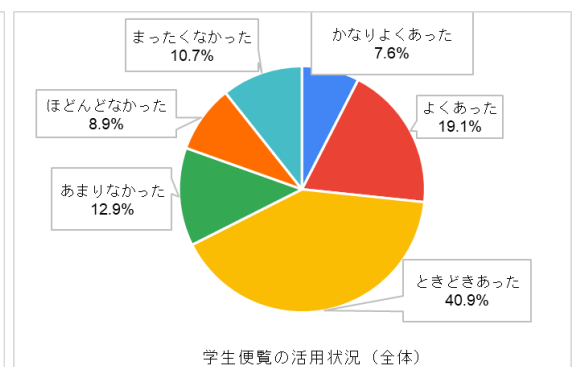
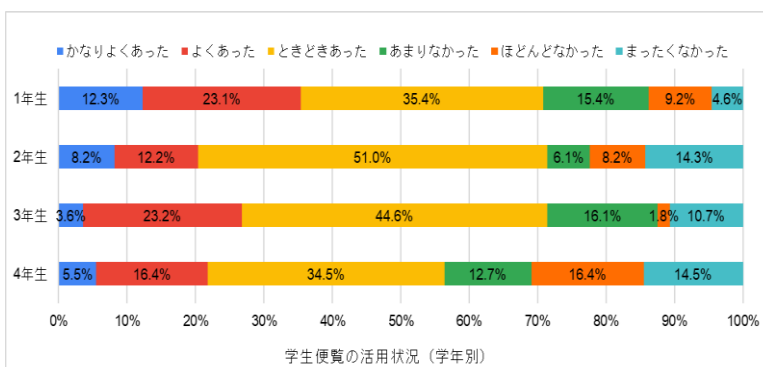
ALCS 学修行動調査の2020年結果概要\*1によると、授業に関連しない学習時間の平均は、1年生で1日146分、3年生で82分となっており、本学の学生はこちらも大幅に少ない結果となっている。

\*1 教学比較 IR コモンズ東京 ALCS 学修行動比較調査 2021 結果概要より

<http://www.cmpir.jp/site/index.php>

6) 学修をすすめるために活用している資源

(1) 学生便覧の活用状況

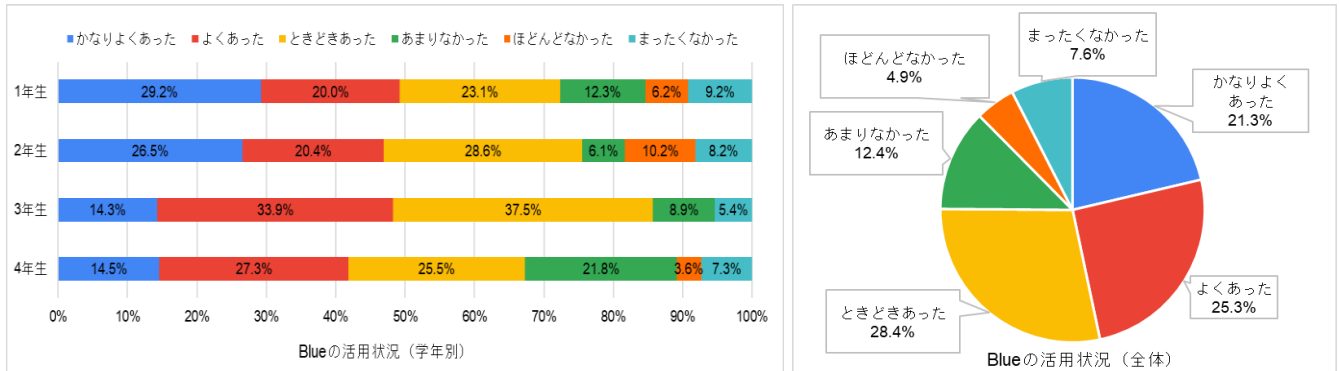


学生便覧の活用状況は、ときどき活用している割合が最も多かった。



活用していない学生も全体の約30%強いるため、学生便覧のどのような点が活用しにくいかなど、学生の声を拾い改善に繋げていく必要がある。

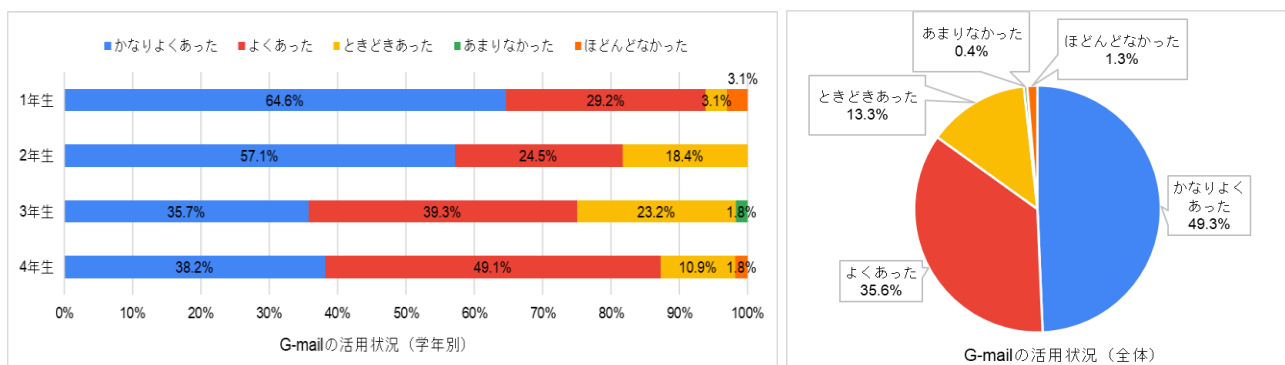
## (2) Blue の活用状況



時間割や試験日程が提示されることもあり学生便覧に比べ活用されている割合が高い。

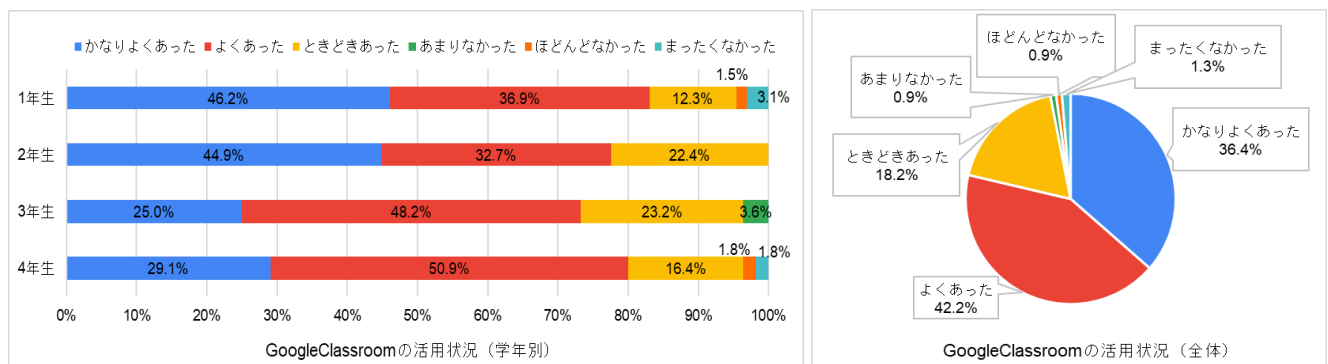
しかし、ほとんど活用していない、全く活用していない学生も約10%強いるため、具体的な活用方法を伝えていくなど方策を考えていく必要がある。

## (3) G-mail の活用状況



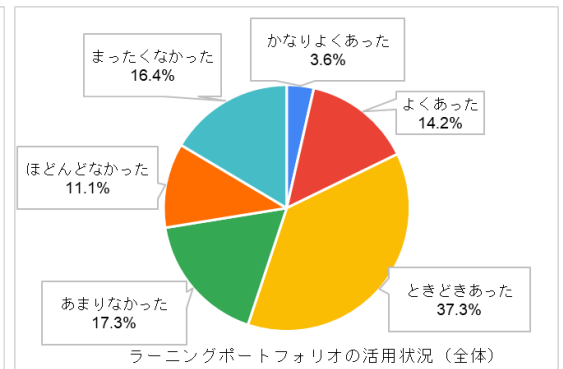
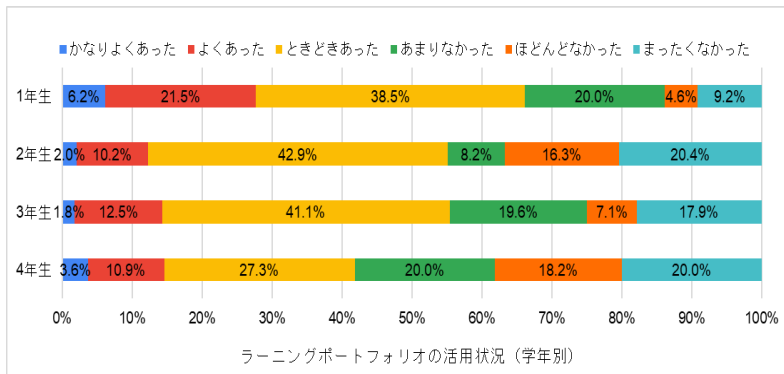
G-mail はほとんどすべての学生が活用できている。

## (4) 科目別 Google Classroom の活用状況



Google Classroom もほとんどの学生が活用できている。

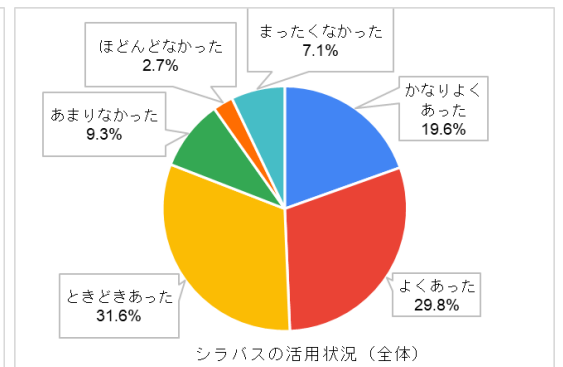
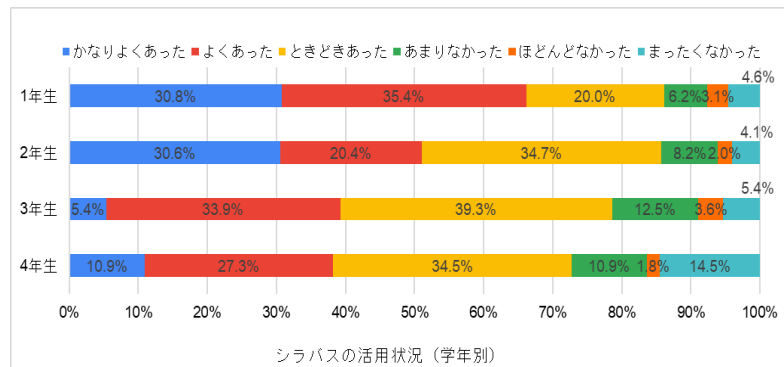
## (5) ラーニング・ポートフォリオの活用状況



ラーニング・ポートフォリオは、全体の約 55%の学生が活用していると回答している。

G-mail や Google Classroom に比べ活用状況は低く、学年が進むにつれて低くなっている。具体的な活用方法についての方策を考えていく必要がある。

## (6) シラバスの活用状況

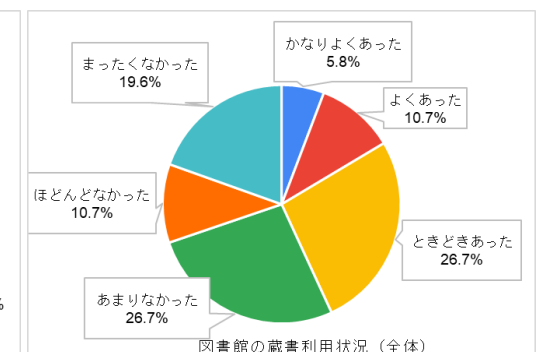
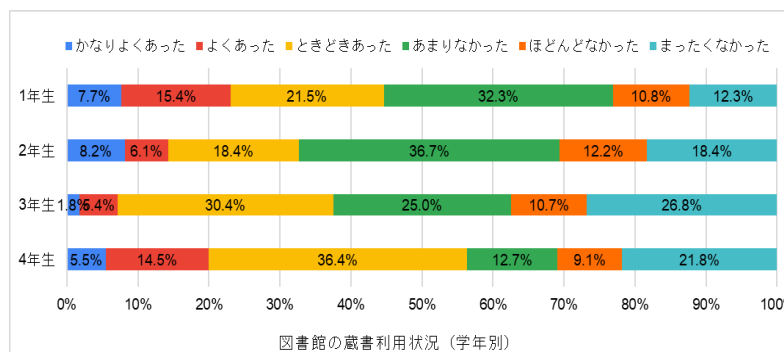


シラバスをよく活用できている学生は、全体の約 50%にとどまっている。

ときどき活用している学生が約30%いるため、もう少し活用状況が改善されるよう方策を考えていく必要がある。web 上のシラバスが見にくい、みたいシラバスを探しにくいという意見があることから、これらの改善がなされれば活用される可能性がある。

## 7) 学修をすすめるために利用している学内施設

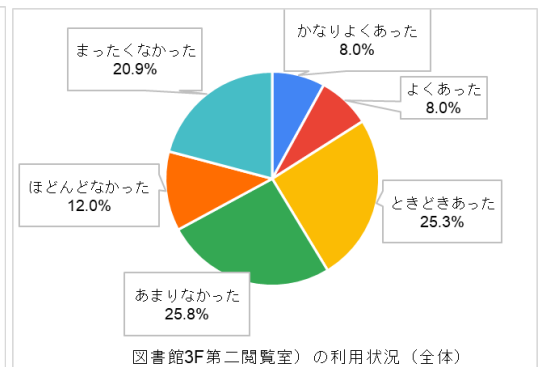
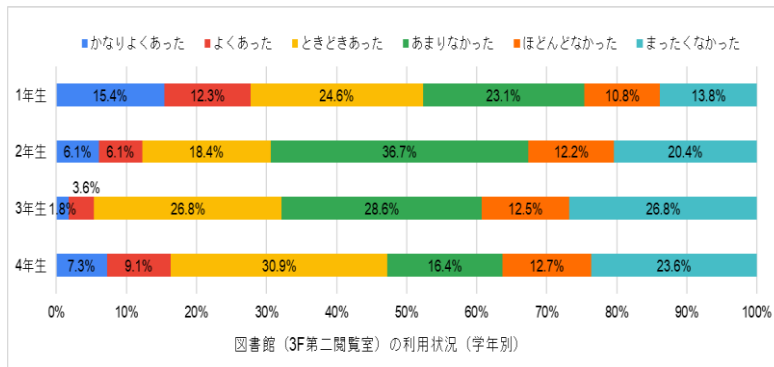
### (1) 図書館(蔵書利用)



図書館の蔵書利用は、全体の50%以上が「あまり利用していない」「ほとんど利用していない」「まったく利用していない」と回答していた。

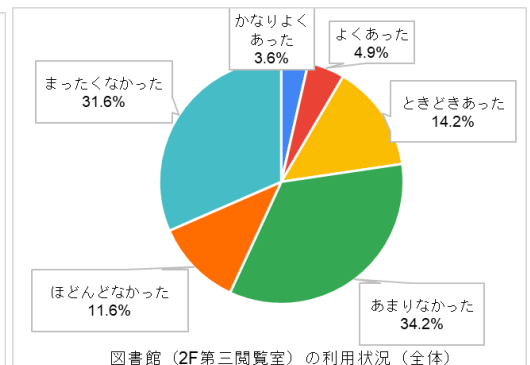
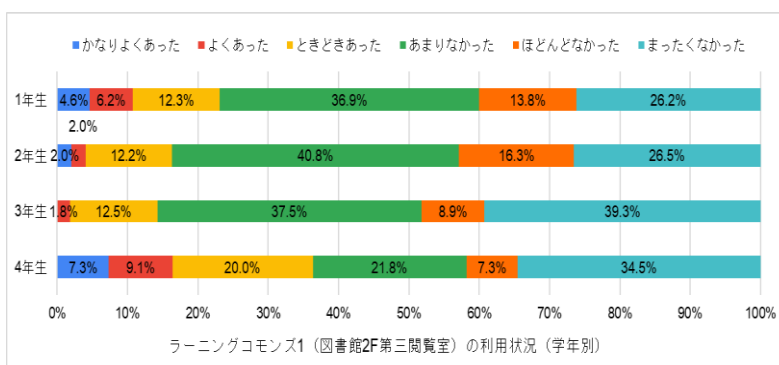
本来ならば実習前など、図書館の蔵書利用が増加するのであるが、3年生の利用率はあまり高くなく、利用率が高まる方策を考えていく必要がある。

## (2) 図書館(3F 第2 閲覧室)



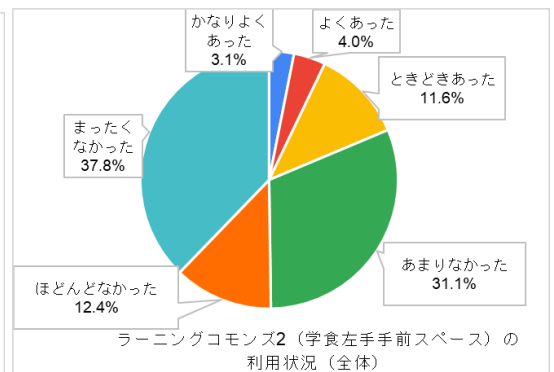
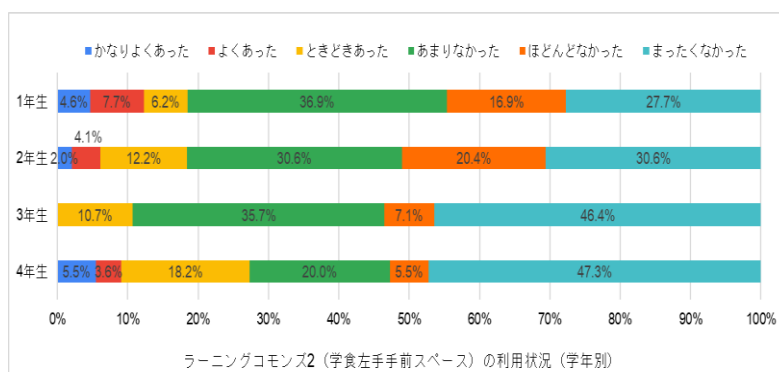
図書館 3F 第2 閲覧室の利用については、約60%の学生が「あまり利用していない」「ほとんど利用していない」「全く利用していない」と回答していた。蔵書利用と合わせて、図書館の利用率向上の方策を考えていく必要がある。

## (3) ラーニングcommons 1 (図書館 2F 第3 閲覧室)



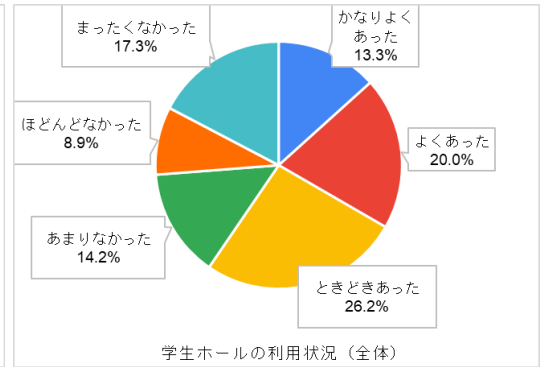
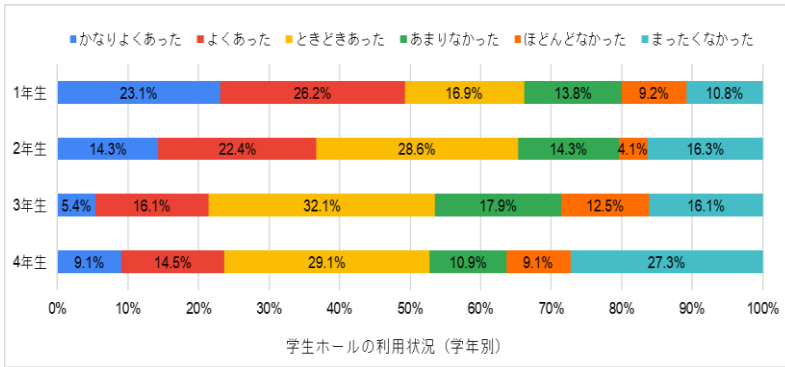
ラーニングcommons 1 (図書館 2F 第3 閲覧室)は、約80%の学生が利用していないと回答していた。認知度が低い可能性があり、学生同士と一緒に学修する機会もあまり多くないという結果からも、利用されていない可能性がある。今後、学生同士による主体的な学修がすすめば、利用率も上がってくる可能性はあると考えられる。主体的な学修を促進する方策が必要である。

## (4) ラーニングcommons 2 (学食左手手前スペース)



ラーニングcommons2 (学食左手手前スペース)の利用についても、ラーニングcommons 1と同様、約80%の学生が利用していないと回答していた。ラーニングcommons 1と同様、認知度が低い可能性があり、学生同士と一緒に学修する機会もあまり多くないという結果からも、利用されていない可能性がある。今後、学生同士による主体的な学修がすすめば、利用率も上がってくる可能性はあると考えられる。主体的な学修を促進する方策が必要である。

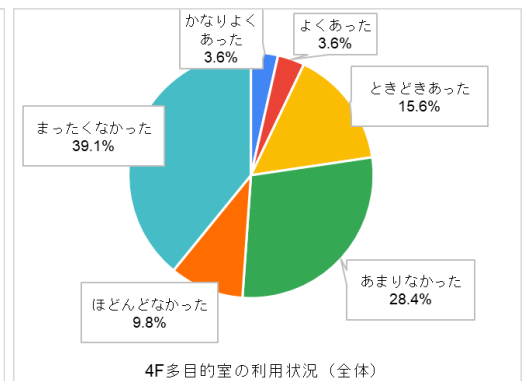
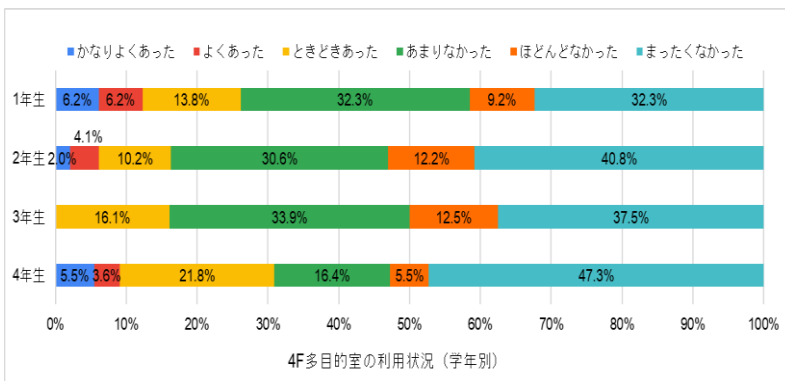
(5) 学生ホール



学生ホールの利用は、図書館やラーニングコモンズと比べると利用されている割合が高い。

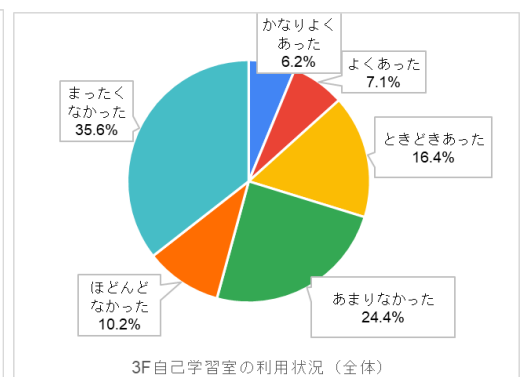
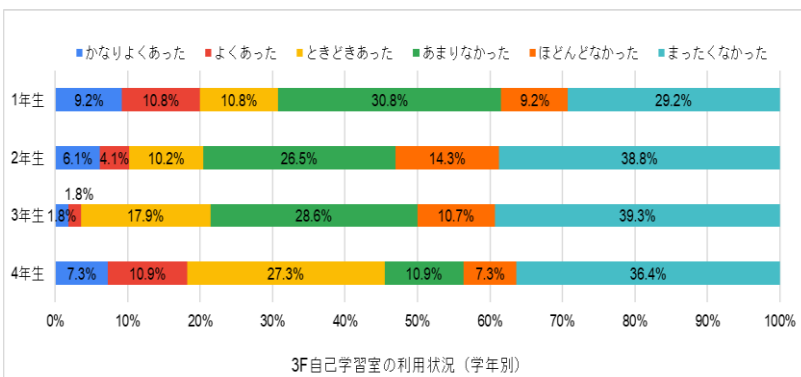
約3分の1の学生がよく利用していると回答していた。認知度も高く、利用しやすい場所にあることも要因と考えられる。

(6) 4F 多目的室



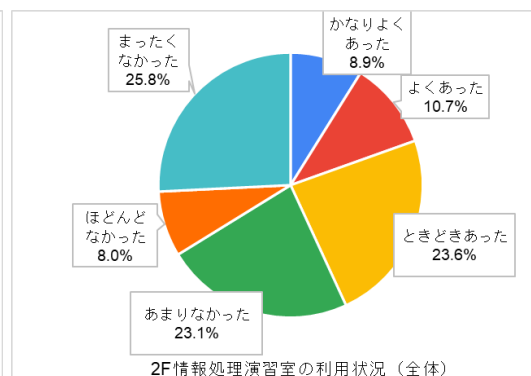
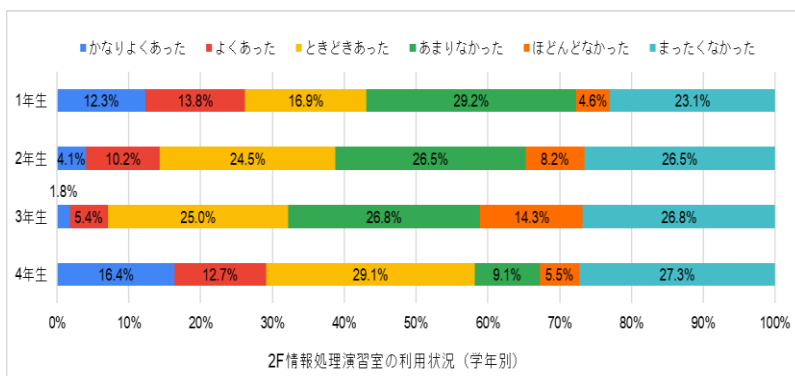
4F 多目的室は、学生の約 80%が「あまり利用していない」「ほとんど利用していない」「全く利用していない」と回答していた。授業講義、演習等で利用することが多い教室のためか、学生が利用できる教室である認識が低い可能性がある。

(7) 3F 自己学習室



3F 自己学習室を利用している学生は、ときどき利用している学生を含めても、全体の約30%にとどまっている。国試に向けての勉強で利用が考えられる4年生においても、利用している学生は半数に満たなかった。利用促進に関する方策を考えていく必要がある。

(8) 2F 情報処理演習室



2F 情報処理演習室は、学生が自由に使用できる PC があるためか、学生ホールに次いで利用されていた。しかし、半数以上の学生が「あまり利用していない」「ほとんど利用していない」「全く利用していない」と回答している。PC の立ち上がりが遅い、印刷機に接続できる PC が限られているなどが利用率が低い要因と考えられる。ただし、PC 状況が改善された後も結果が変わらなければニーズがない可能性もある。

8) 学修環境、学修支援全体を通して改善してほしいこと、望んでいること(自由記載)

パソコンを新しくしてほしい、
入学して初めてパソコン室でコピーをする時、セキュアプリントにしてからコピーをするやり方が分からなかったの、初めに教えて貰えたら嬉しいです。
補講の時先生方がホワイトボードを使って教えてくださるのですが、その際マーカーのインクが無いと良く言っていたので、新しい予備のマーカーがあると良いのかなと思いました。
指定座席は必要ないとする。座席を指定したとして感染経路が辿り切れるわけではないので。目が見えなかったりする人などに配慮した方が良いでしょう。
web 上のシラバスを見やすくしてほしいです。科目を探し出すのが大変です。
時間割を調整してほしい。
試験の日程を詰めないでほしい。
提出物試験の日程を調節してほしい
空調があまり効いてない
暖房が効いてない時があるので、改善して欲しいです。
シラバスを閲覧しやすくしてほしいです。スクロールが大変です。教科名をタップしたら、そのページに瞬時移動する、以前のような形式にしていただけると、とても助かります。
4 階の多目的教室の場所が分からず、その教室で勉強していいことを知らなかった。
ビデオ等の音声あまり聞こえない時があります。
Wi-Fi 環境を整えてほしい。学生ホールで調べものをしたいときに接続できないことが多い。
シラバスを一年生のときみたいにしてほしいです。
対面授業は自由席にしてほしい、周りがうるさく授業に集中できない
Wi-Fi 環境改善をお願いします。
提出物に穴が空いていない時、学務課から穴あけパンチをお借りする時がありますが、眼鏡をかけた女性からいつも嫌な顔をされるため改善していただきたいです。コロナ等で貸し出しを行っていないのならその旨を張り紙等で掲示していただきたいです。
学生ホールの電波が悪い
冷暖房の調整が下手なので自由にできる設定だとありがたい

Wi-Fi を繋がるようにするとき、iPhone だけでなく Android の機種全般繋がるようにしてほしい
窓を閉めていても換気が出来るよう換気扇を設置してほしい
教室の温度
通信環境

学修環境、学修支援に関する改善要望 自由記載欄の内容まとめ(複数あがったもの)

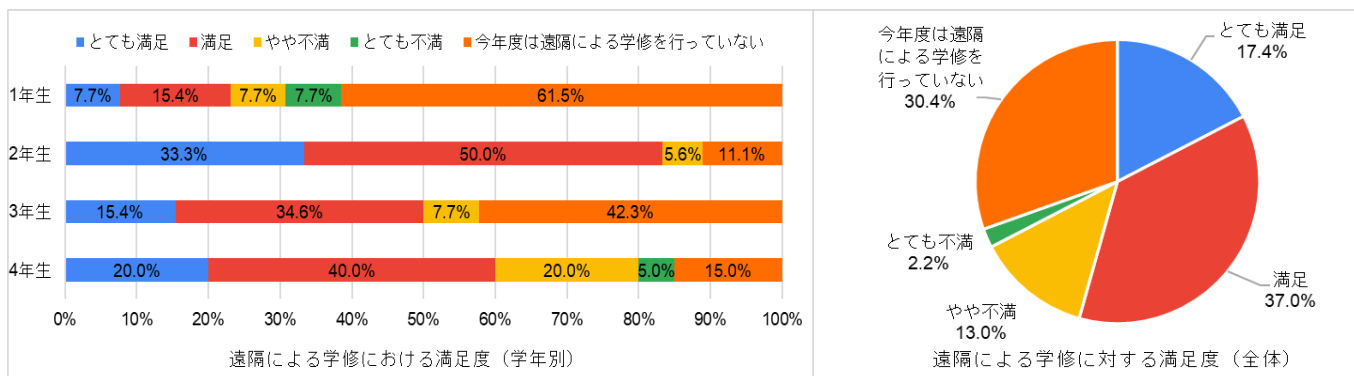
学修環境に関する意見・要望	件数
空調に関すること	26 件
通信環境、パソコン、プリンターなど、ICT に関すること	10 件
スクリーン、モニター、マイク、音響、机、椅子、ホワイトボードマーカーなど、講義室備品に関すること	9 件
座席に関すること	6 件
図書館や 4F 多目的室、学生ホールなど、学内施設の環境や利用に関すること	4 件

学修支援に関する意見・要望	件数
試験日程に関すること	5 件
時間割に関すること	4 件
学生便覧・Blue・シラバスに関すること	3 件
学修支援(外部講師含む)に関すること	3 件
教材に関すること	2 件

【現代文化学部】

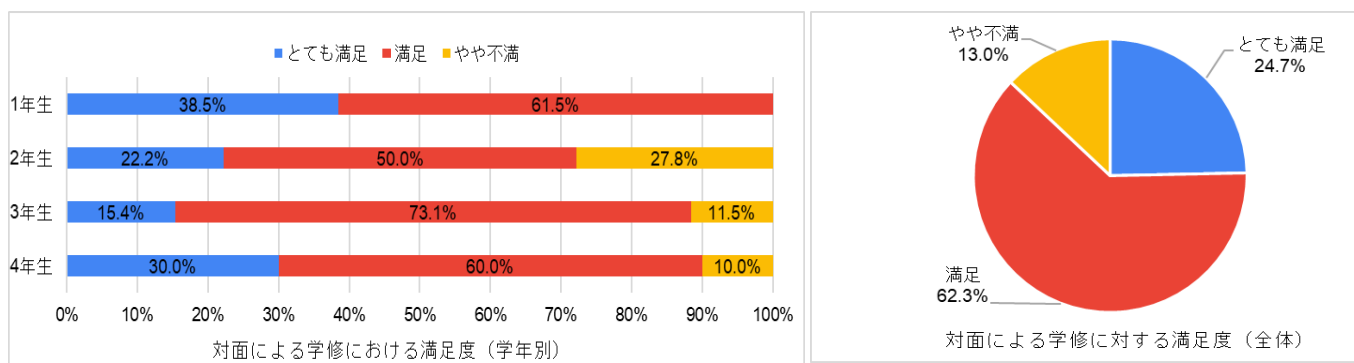
1) 学修支援・学修環境に対する満足度

(1) 遠隔による学修における満足度



遠隔による学修を行った学生のほとんどは「とても満足」「満足」と回答している。特に1年生に対しては対面による指導を充実させることができていたのではないかと(「遠隔による学修を行っていない」が61.5%)。

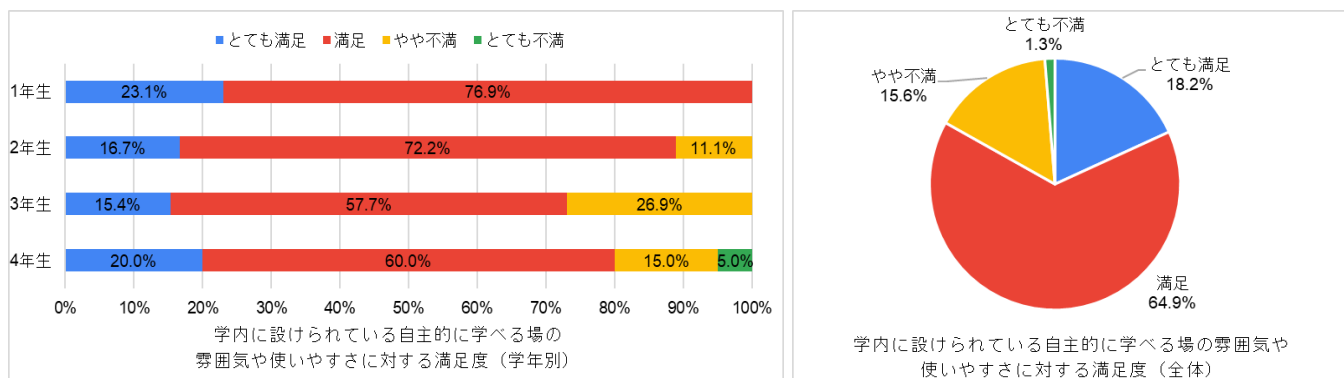
(2) 対面による学修における満足度



全体の90%弱が「とても満足」「満足」と回答している。

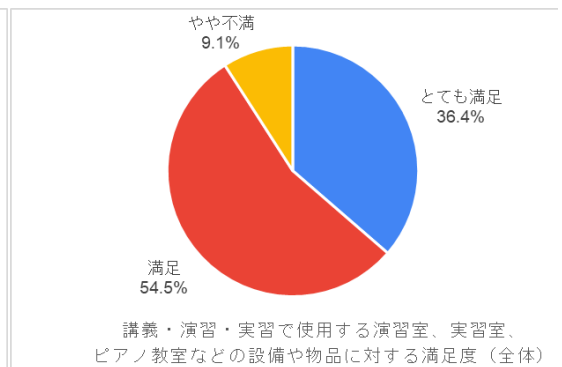
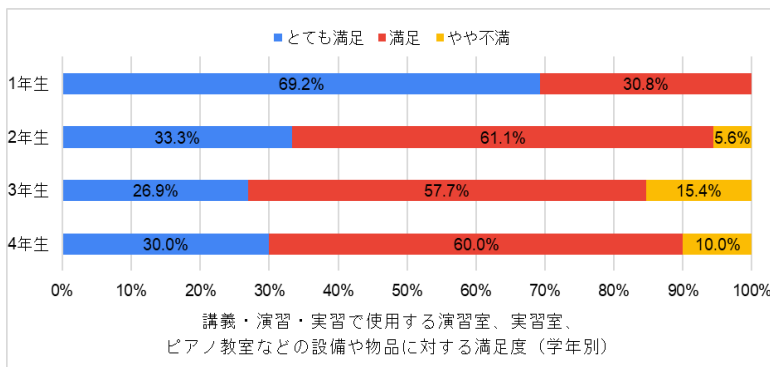
学年別に見ると、2年生が最も満足度が低くなっている。3年生が最も満足度が高い。

(3) 学内に設けられている自主的に学べる場(ラーニングコモンズ、図書館、学生ホール、4F多目的室、3F自己学習室、2F情報処理演習室など)の雰囲気や使いやすさに対する満足度



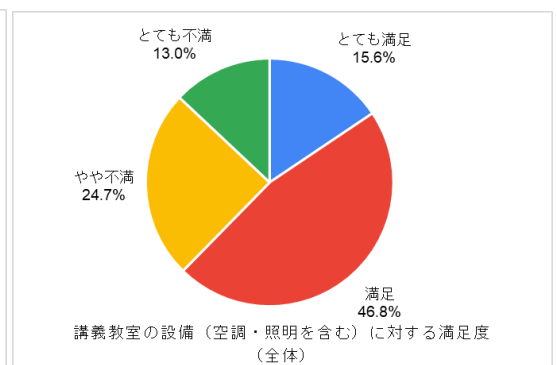
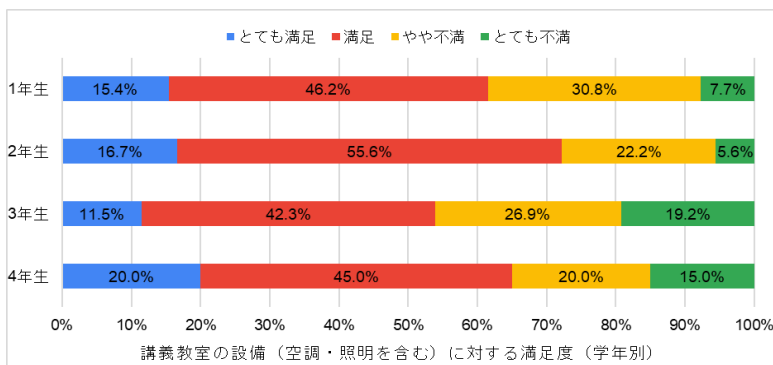
自主的に学べる場の雰囲気や使いやすさには、80%以上が「とても満足」「満足」と回答している。

(4) 講義・演習・実習で使用する演習室、実習室、ピアノ教室などの設備や物品に対する満足度



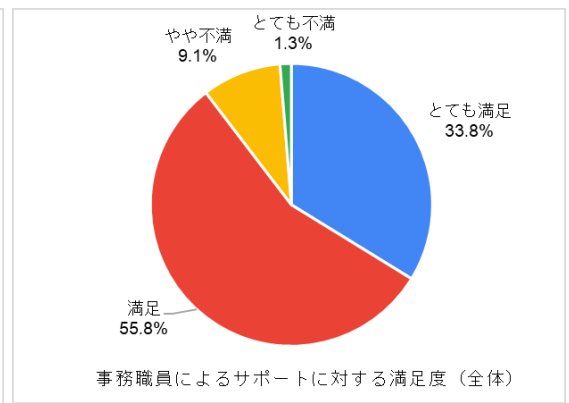
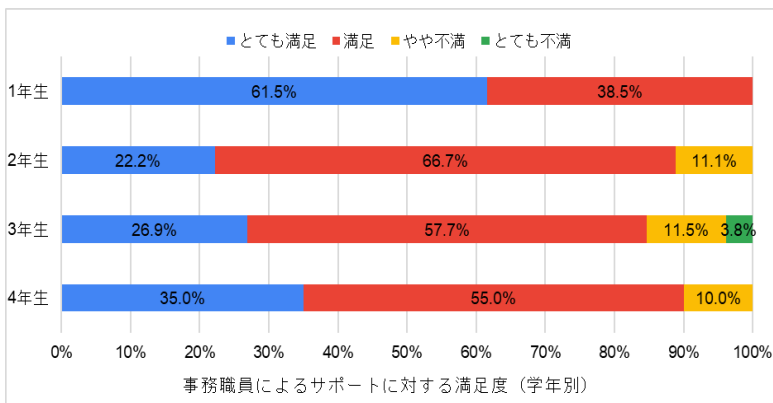
演習室、実習室などの設備や物品に対しては、非常に満足度が高く、約 90%が満足している。1年生においては100%が満足している。

(5) 講義教室の設備(空調・照明を含む)に対する満足度



「とても満足」「満足」と回答したものが全体の 62%となっており、演習室や実習室の満足度と比べて講義室に対する満足度は低くなっている。特に3年生は「とても満足」「満足」を合わせて 53.8%であり、他の学年に比べて低い。

(6) 事務職員によるサポートに対する満足度



事務職員のサポートに対する満足度は、「とても満足」「満足」を合わせて約 90%となっており非常に高くなっている。



2) 学修に関して大学からサポートしてほしいこと(自由記載)

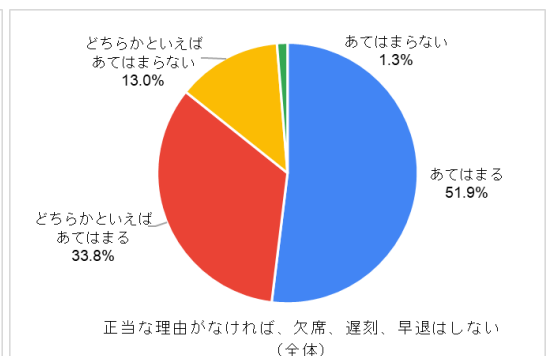
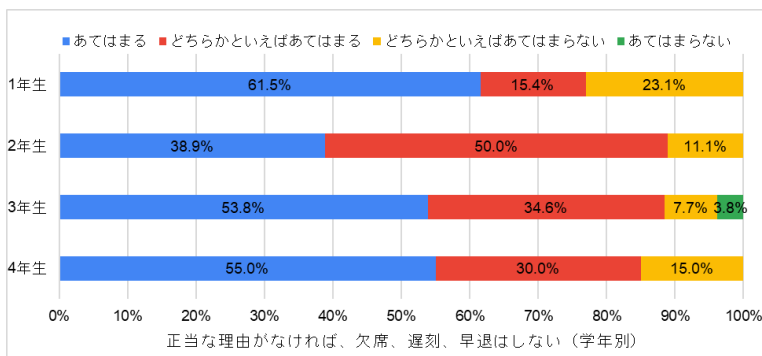
公務員試験の勉強法を教えて欲しい
就職対策
補講等の連絡を早くして欲しい。 便覧を配らないようになってからの扱いに不満。便覧を配った方が良かったと思う。 Blue に載せるなら載せたという連絡が欲しいし、使いやすくして欲しい。見づらい。分かりづらい。
WiFi が全ての部屋届くようにして欲しい(学習環境へ↓)

3) 学修環境について改善してほしいこと(自由記載)

体育のような授業を2年生からも行いたい
冷暖房がすごく寒いか暑いかかきかないので、ちょうどいいようにしてほしいです。
冷房暖房ずっとつけてください。
授業時間以外にも冷暖房をつけてほしい。
Wi-Fi が弱い
授業の進行が遅れていることがあった。オリエンテーションの電話を保育園にした後に、電話のかけ方の授業内容があったため、少し見直して欲しい
季節関係なくエアコンを暖房冷房両方使えるようにして欲しい
空調を自由に切り替えられるようにしてほしい
講義室の空調を調節できるようにしてほしい。寒すぎるか暑すぎるかの二極端で、体調が悪くなる。
空き教室の予約状況を入口に分かるように貼るなど対応して欲しい。
空調の調整が効くようにして欲しい。 暑すぎたり寒すぎたりする。 各教室で調整できる等。わざわざ学務に行ってつけてもらわなくてもできるようにして欲しい。 Wi-Fi がつながっていると電話できない。
コロナが流行し始めたらずきに遠隔に変えて欲しい。
学校が寒い、
教科書販売について 学年違い 発注ミス等が毎年ある四年間でなかったことはあっただろうか?という回数だった。教科書一覧を出す前、発注する前に教員向けの最終確認を行うのが良いと思う。
寒い。

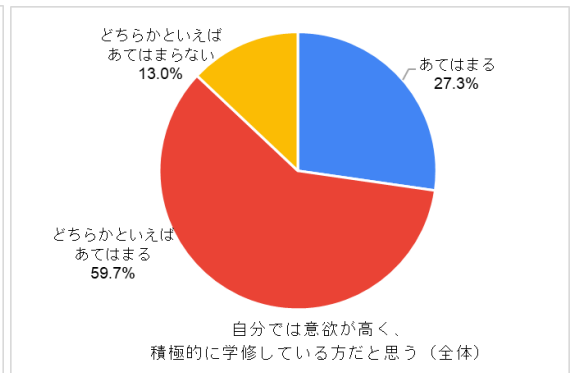
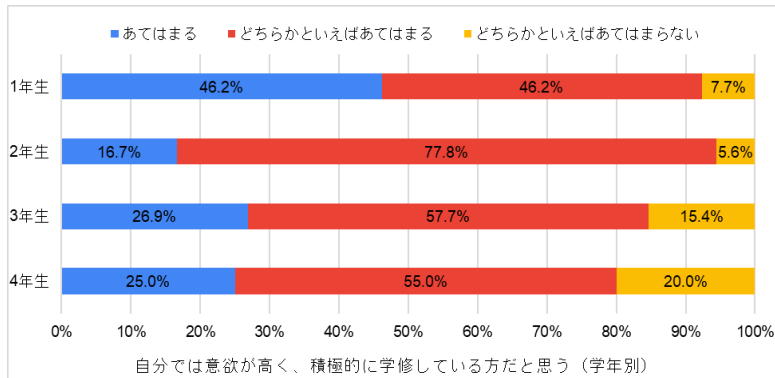
4) 学修に対する学生自身の姿勢

(1) 出席状況



全体の約14%は正当な理由なく欠席、遅刻、早退をしていると回答している。1年生にその割合が多い。

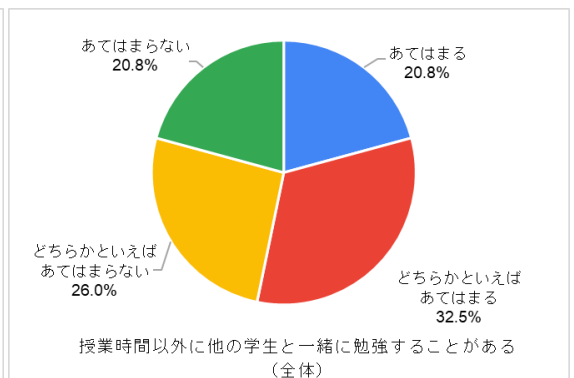
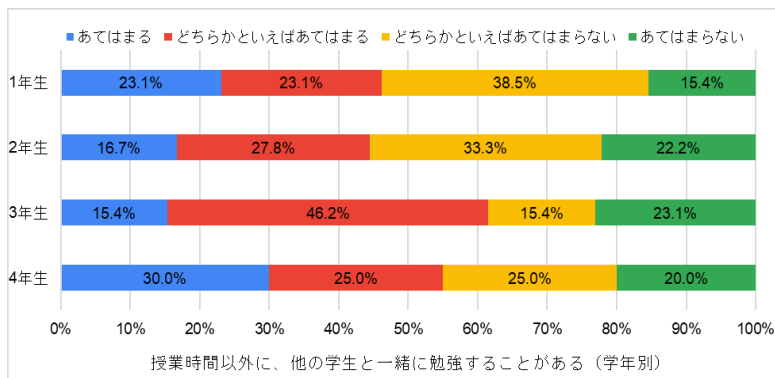
## (2) 学修に対する意欲、積極的学修への姿勢



全体の約 87%の学生が、「意欲が高く、積極的に学修している方だ」と回答している。

傾向としては3、4年生になると若干「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合が低下する。

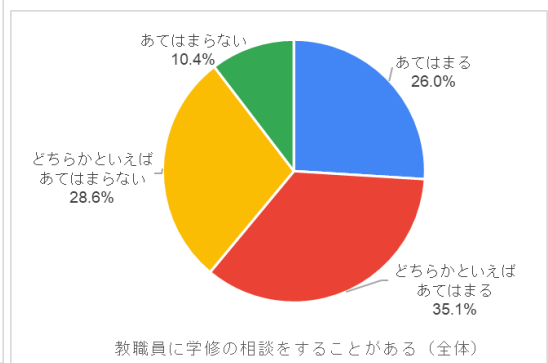
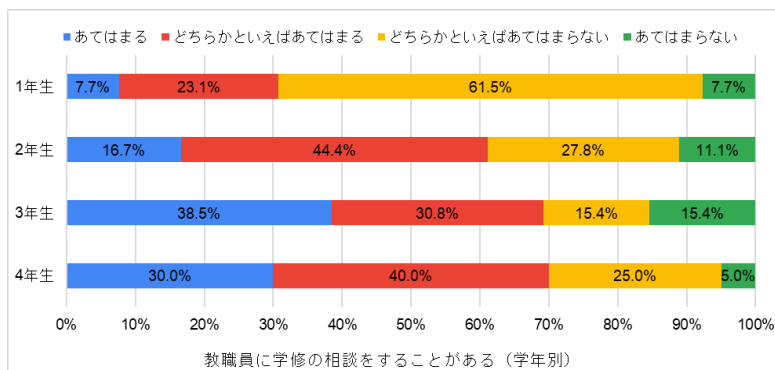
## (3) 他学生とのピアサポート



全体で見ると約 53%の学生が、「授業時間以外に他学生と一緒に勉強することがある」と回答している。

3年生が最も多く(61.6%)、2年生が最も少ない(44.5%)。学年の特徴を踏まえた指導が必要と言える。

## (4) 教職員への学修相談

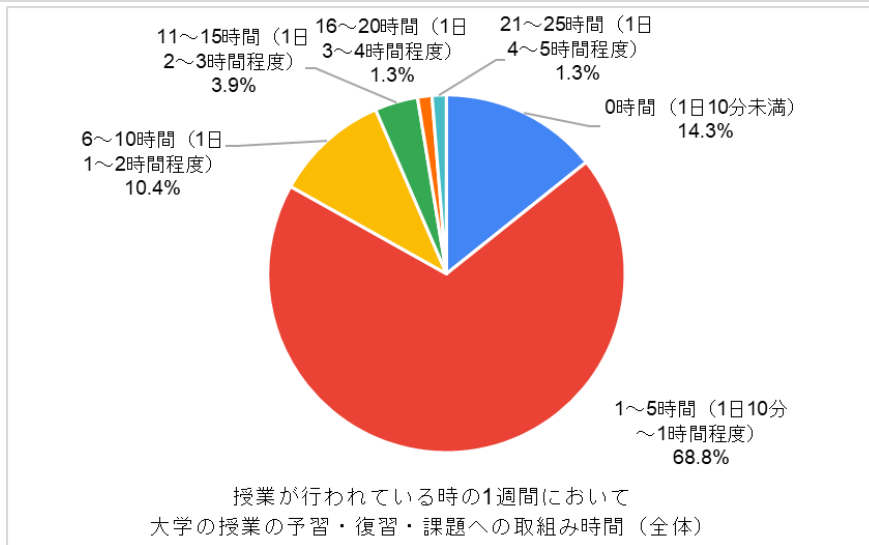
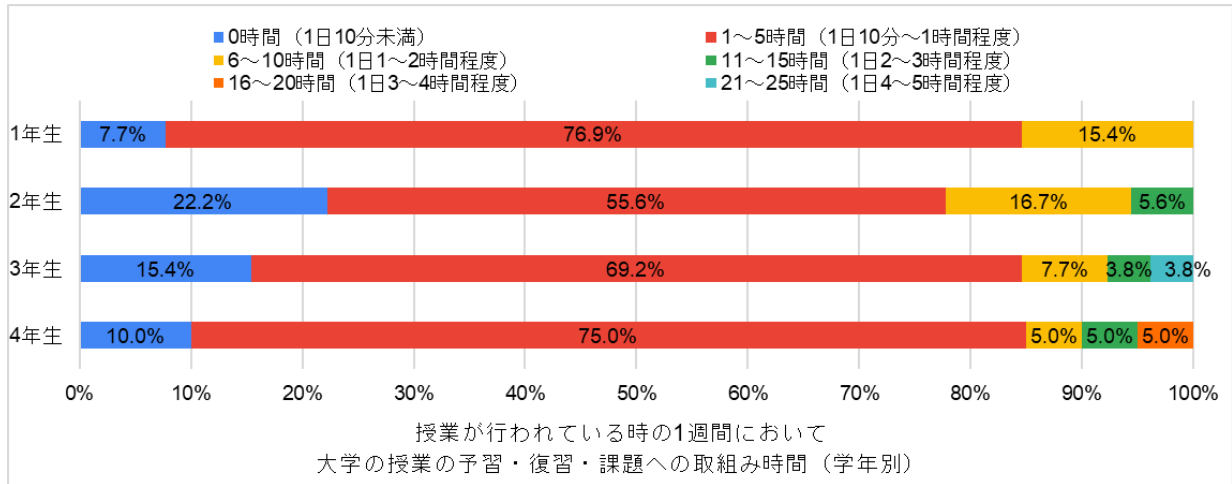


教職員への学修の相談をすることがあると回答した学生は、全体の約 60%であった。

他の学年に比べて1年生が最も相談することが少ない。

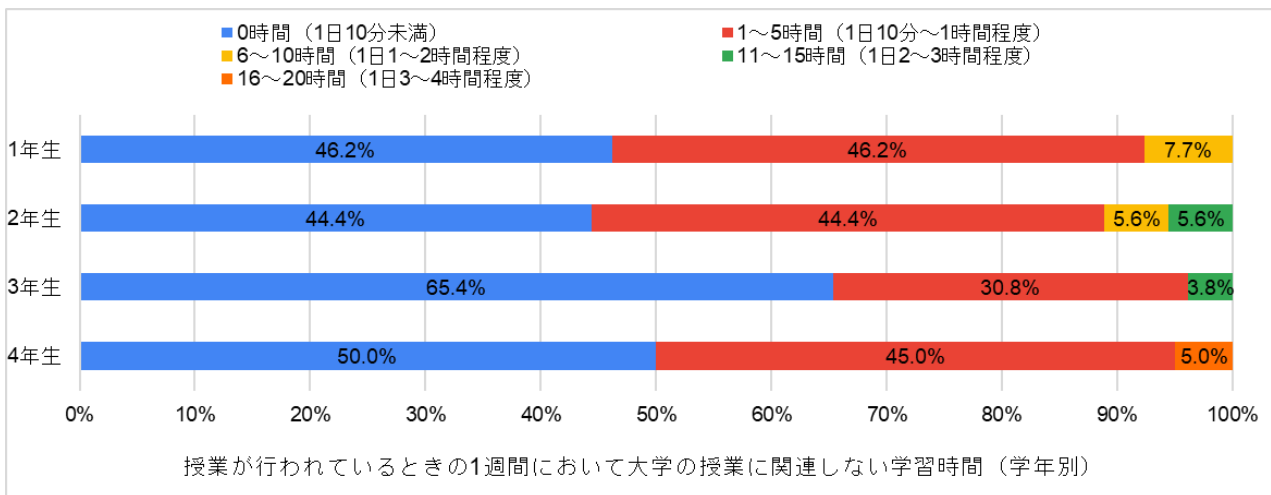
5) 学修時間

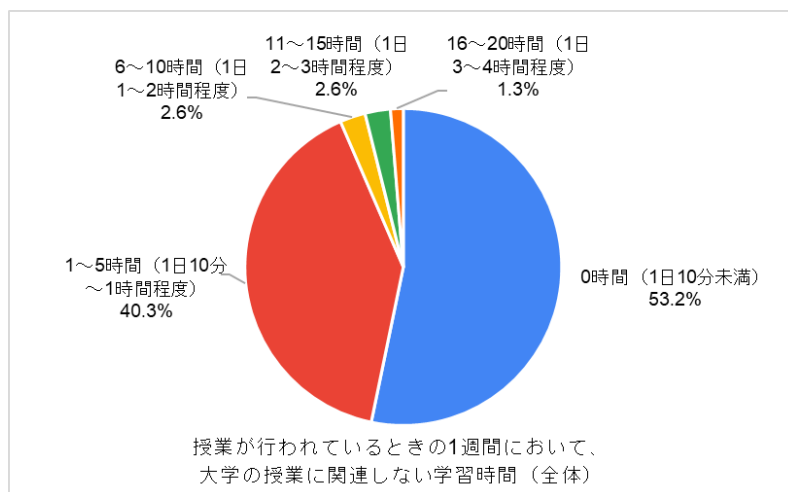
(1) 授業が行われている1週間における、大学に授業の予習・復習・課題への取組み時間



70%近くの学生の学修時間は、1日1時間程度以下であった。2年生では「1日10分未満」との回答も22%あった。多くの大学で採用しているALCS学修行動調査の2020年結果概要\*1によると、授業に関する授業外学修時間の平均は、1年生で1日141分、3年生で122分となっており、本学の学生の学修時間は約半分と大幅に少ない。

(2) 授業が行われている1週間における、大学の授業に関連しない学習への取組み時間





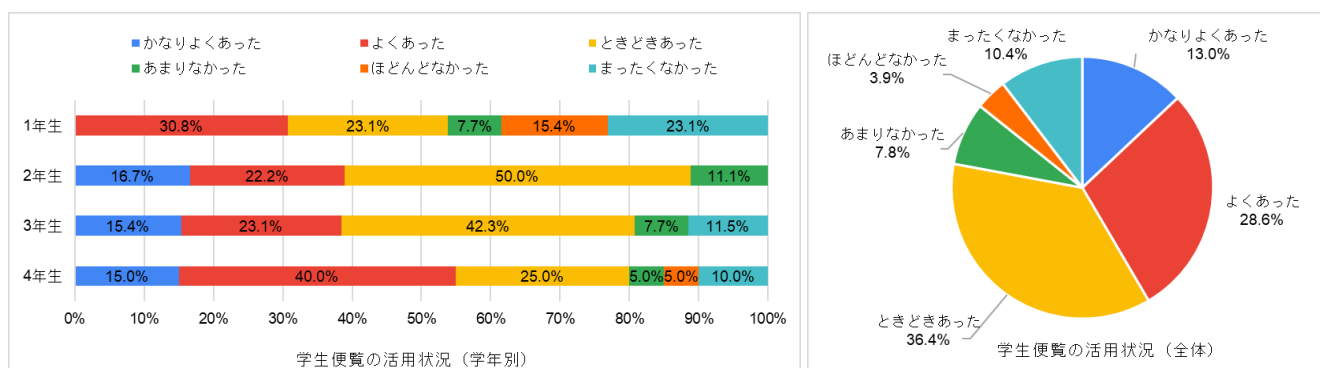
授業に関連しない学習時間は、約 53%の学生が1日10分未満と回答しており、授業に関連しない学習時間も大変短くなっている。ALCS 学修行動調査の 2020 年結果概要\*1 によると、授業に関連しない学習時間の平均は、1年生で1日146分、3年生で82分となっており、本学の学生はこちらも大幅に少ない結果となっている。

\*1 教学比較 IR コモンズ東京 ALCS 学修行動比較調査 2021 結果概要より

<http://www.cmpir.jp/site/index.php>

## 6) 学修をすすめるために活用している資源

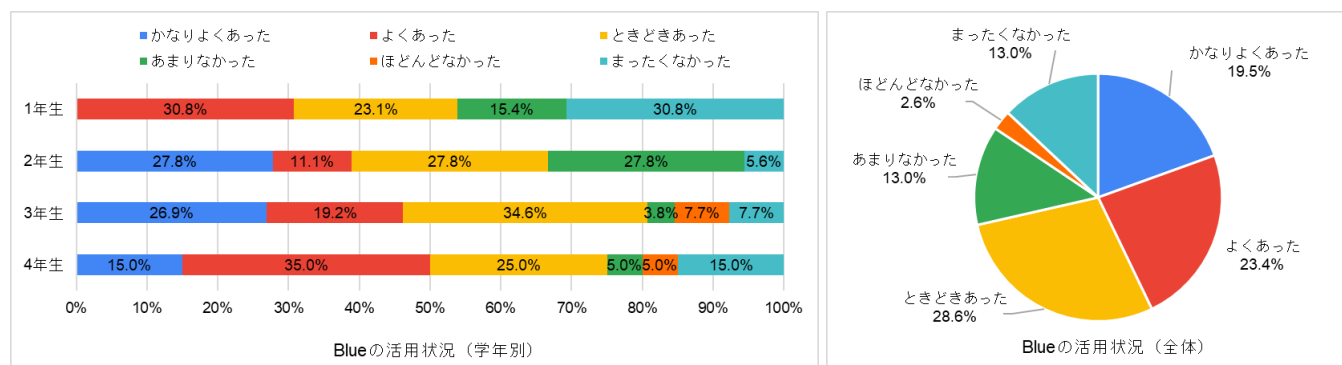
### (1) 学生便覧の活用状況



学生便覧の活用状況は、ときどき活用している割合が最も多かった。

1、3、4年生では、活用していない学生も約 10%以上おり、特に1年生は 46%が活用していない。学生便覧のどのような点が活用しにくいかなど、学生の声を拾い改善に繋げていく必要がある。

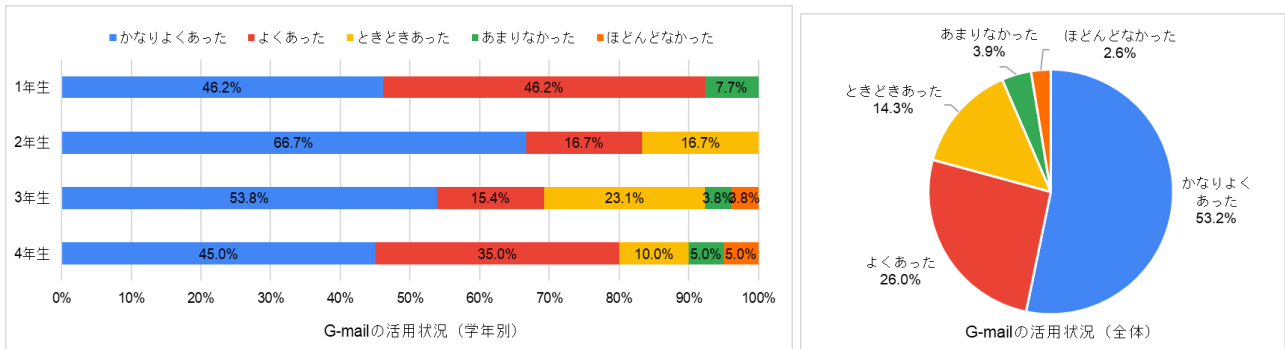
### (2) Blue の活用状況



時間割や試験日程が提示されることもあり、学生便覧に比べ活用されている割合が高い。

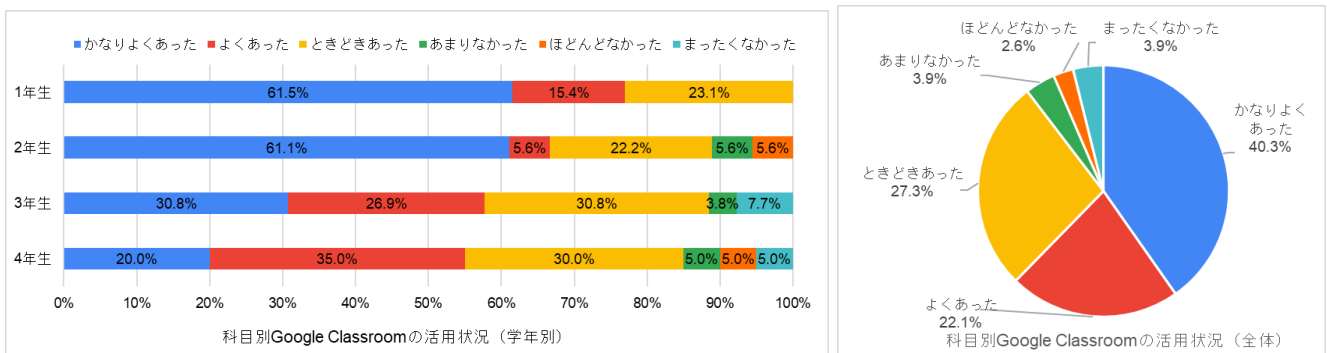
しかし、ほとんど活用していない、全く活用していない学生も約 15%いるため、具体的な活用方法を伝えていくなど方策を考えていく必要がある。

### (3) G-mail の活用状況



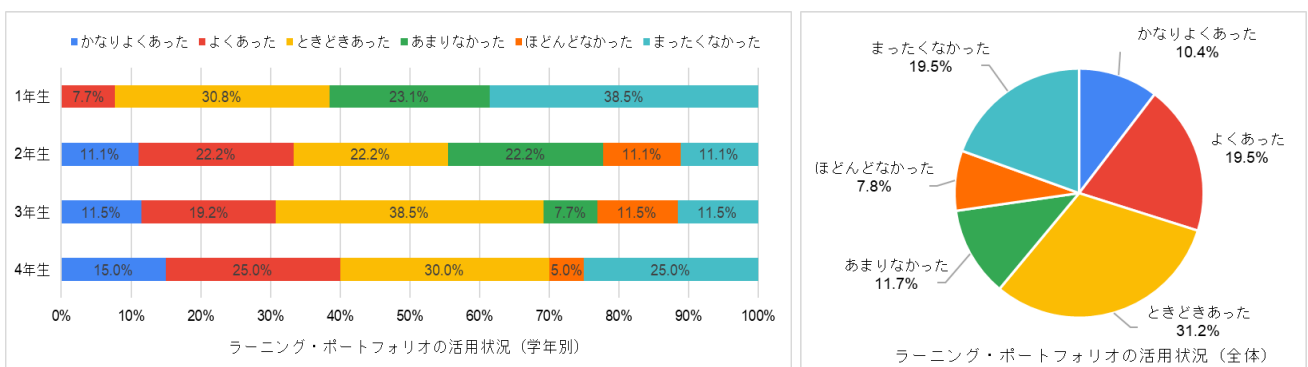
G-mail は約 80%の学生が活用できている。ただし「あまりなかった」「ほとんどなかった」の回答も見られるため、活用が十分でない学生も見られる。活用のフォローはある程度必要であると考えられる。

### (4) 科目別 Google Classroom の活用状況



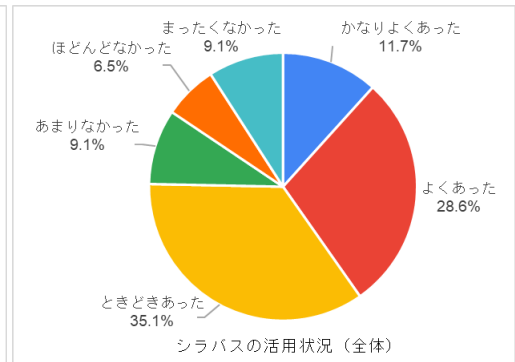
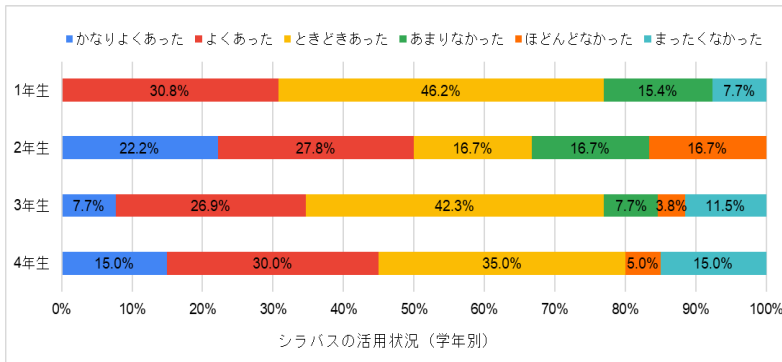
Google Classroom は授業の多い下級生ほど活用している。

### (5) ラーニング・ポートフォリオの活用状況



ラーニング・ポートフォリオは、全体の約 61%の学生が活用していると回答している。単位取得状況のチェックなどに活用するため上級生になるほど活用の割合は高い。下級生への活用方法の指導が必要である。

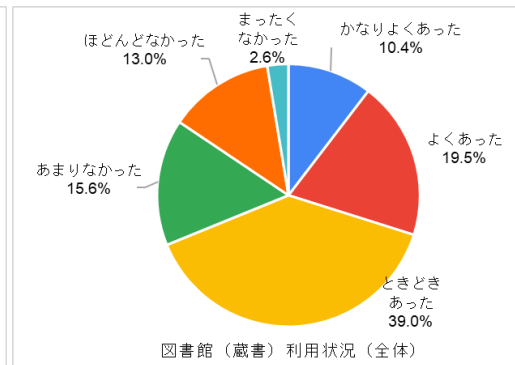
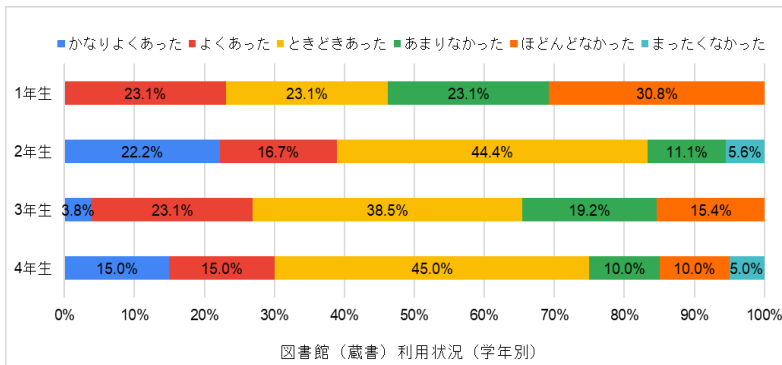
## (6) シラバスの活用状況



シラバスをよく活用できている学生は、全体の約 40%である。ときどき活用している学生が約35%いるため、もう少し活用状況が改善されるよう方策を考えていく必要がある。

## 7) 学修をすすめるために利用している学内施設

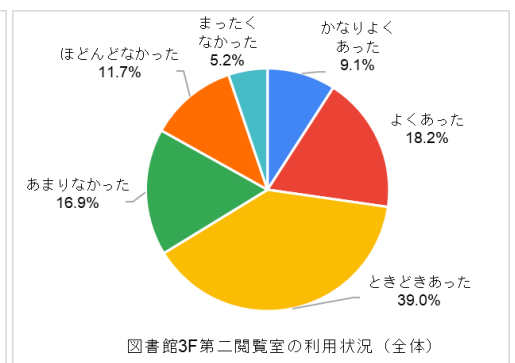
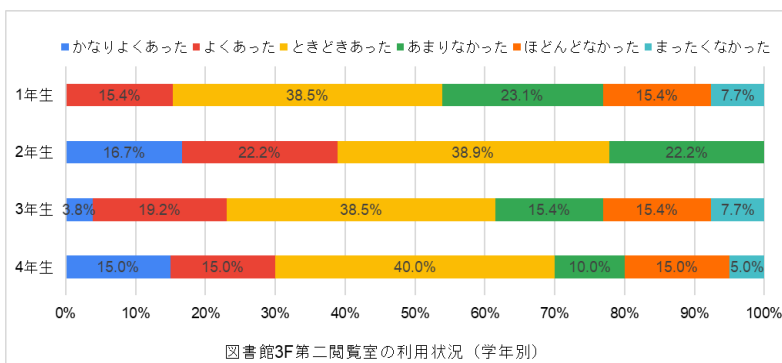
### (1) 図書館(蔵書利用)



図書館の蔵書利用は、全体の約 30%が「あまり利用していない」「ほとんど利用していない」「まったく利用していない」と回答していた。

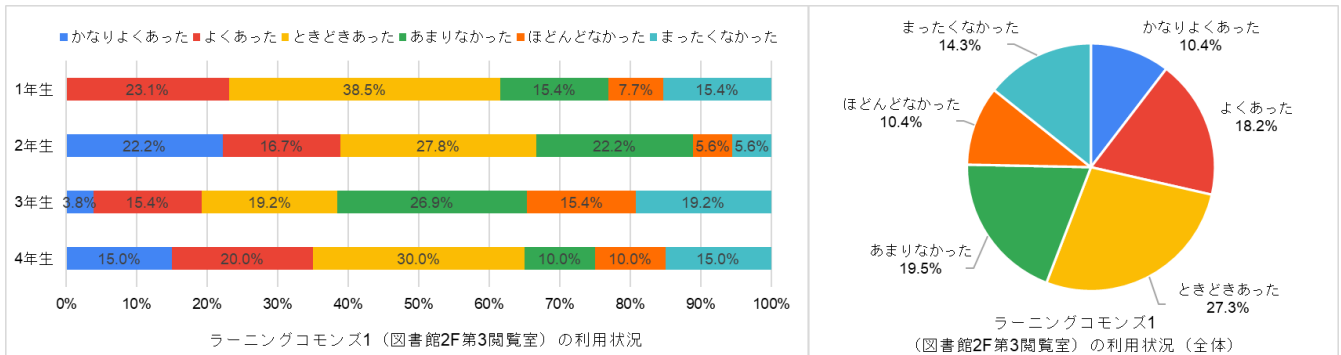
最も利用率が高い2年生でも 39%と低い。また1年生は「かなりよくあった」の回答がなかった。図書館の活用方法についても授業とリンクさせながら指導する必要がある。

### (2) 図書館(3F 第2閲覧室)



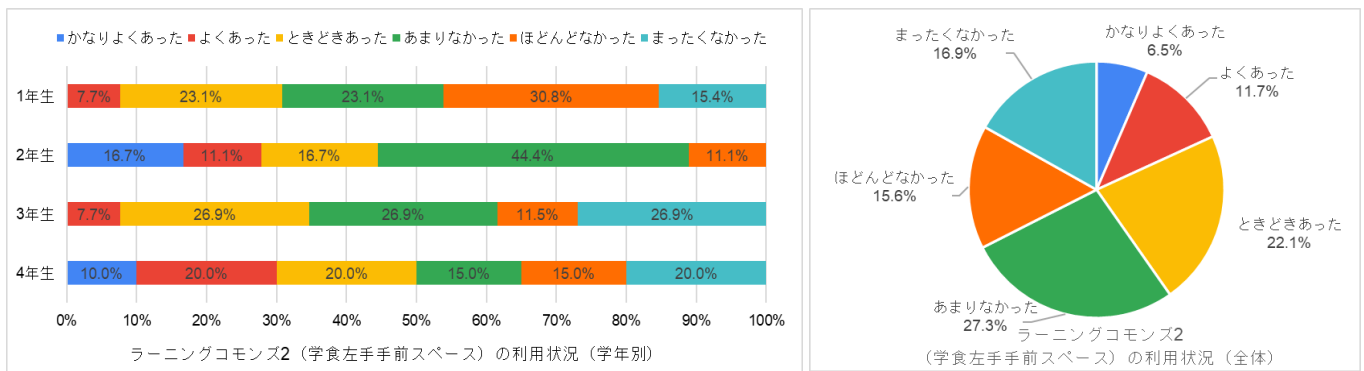
図書館3F 第2閲覧室の利用については、「ときどきあった」の割合が最も高いが、やはりこでも1年生の「かなりよくあった」の回答が見られないことが目につく。1年生のうちから図書館の活用を習慣づけるための方策を検討すべきである。

### (3) ラーニングcommons 1 (図書館 2F 第3 閲覧室)



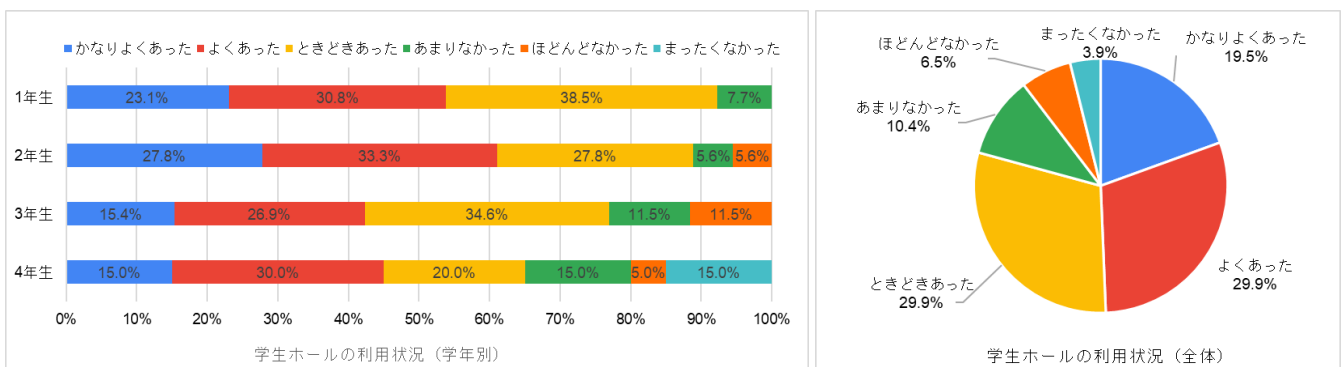
ラーニングcommons 1 (図書館 2F 第3 閲覧室) は、約 44%の学生が利用していないと回答していた。「ときどきあった」の回答を含めると、3年生以外は比較的利用率は高いが、ラーニングcommonsの認知度向上の方策も検討すべきであろう。

### (4) ラーニングcommons 2 (学食左手手前スペース)



ラーニングcommons 2 (学食左手手前スペース) の利用については、約 60%の学生が利用していないと回答していた。学生が学食を利用する頻度が低い可能性もあり、それと関連して認知度が低いことが考えられる。今後、学生同士による主体的な学修がすすめば、利用率も上がってくる可能性はある。主体的な学修を促進する方策が必要である。

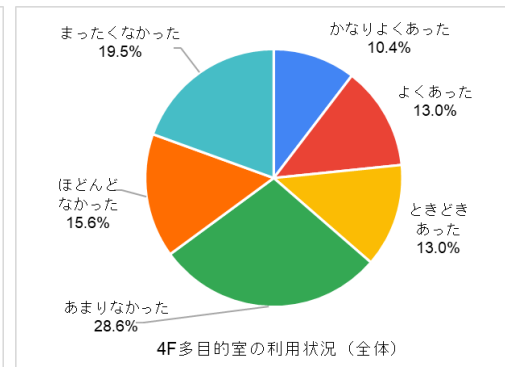
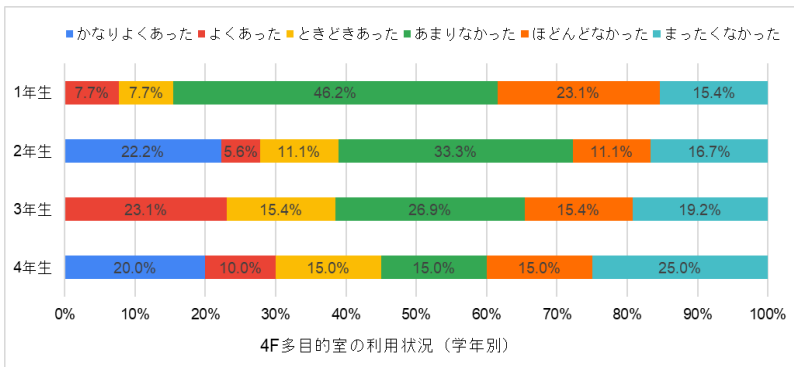
### (5) 学生ホール



学生ホールの利用は、図書館やラーニングcommonsと比べると利用されている割合が高い。約半数の学生がよく利用していると回答していた。認知度も高く、利用しやすい場所にあることも要因と考えられる。

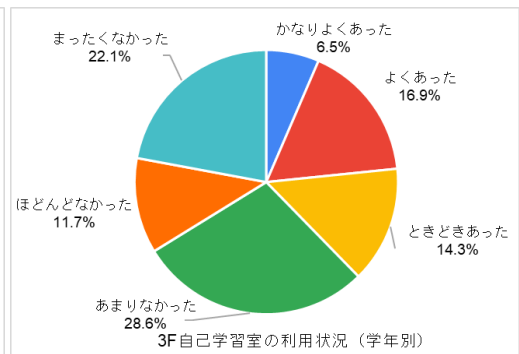
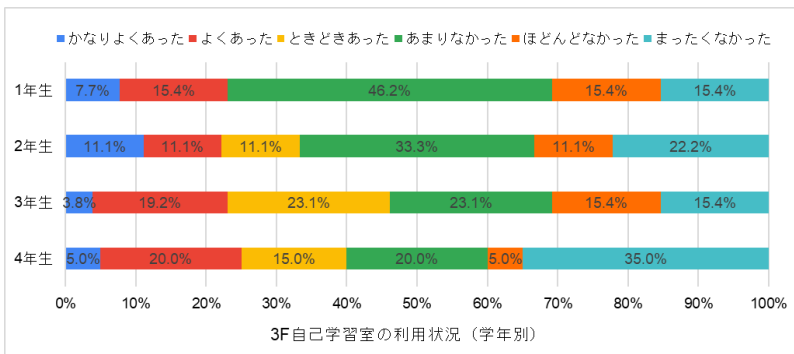


## (6) 4F 多目的室



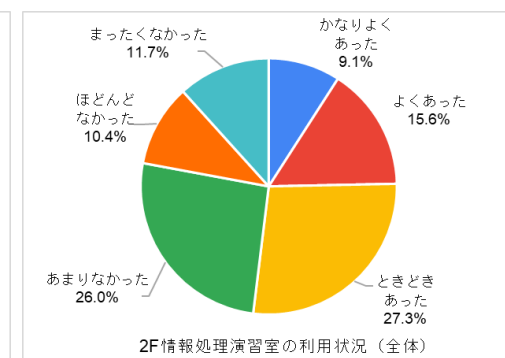
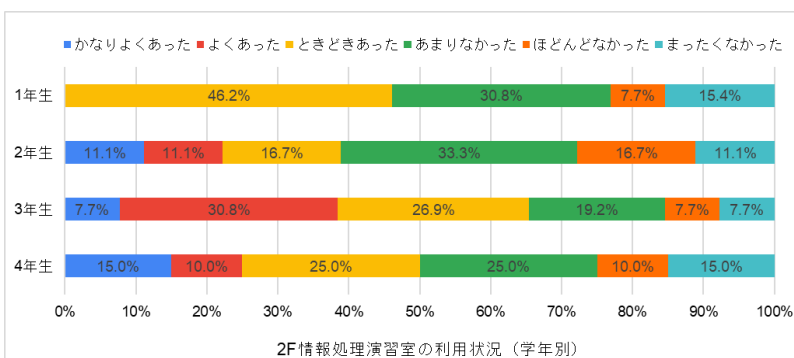
4F 多目的室は、学生の約63%が「あまり利用していない」「ほとんど利用していない」「全く利用していない」と回答していた。授業講義、演習等で利用することが多い教室のためか、学生が利用できる教室である認識が低い可能性がある。

## (7) 3F 自己学習室



3F 自己学習室を利用している学生は、ときどき利用している学生を含めても、全体の約30%にとどまっている。特に1、2年生で利用率が低い。上級生が使っていると使用を控えてしまう可能性も考えられる。下級生の利用しやすい方法も考えた上で周知をすすめる必要がある。

## (8) 2F 情報処理演習室



2F 情報処理演習室は、学生が自由に使用できるPCがあるためか、学生ホールに次いで利用されていた。しかし、半数近い学生が「あまり利用していない」「ほとんど利用していない」「全く利用していない」と回答している。PCの立ち上がりが遅い、印刷機に接続できるPCが限られているなどが利用率が低い要因と考えられる。ただし、PC状況が改善された後も結果が変わらなければニーズがない可能性もある。



8) 学修環境、学修支援全体を通して改善してほしいこと、望んでいること(自由記載)

ブルーと先生の口頭の日程が違う時があるのでやめてほしい。
体育館を自由開放にしてほしい。それか、当日予約でも使えるようにしてほしい
空調調整が全部屋できるようにしてほしい
空き教室の予約状況が分かるようにしてほしい。看護学科の利用していることが多く、こども文化学科の学生が利用できる教室がなかなか見つからず毎回困る。利用していても移動してほしいと言われる為、時間がもったいない。
パソコン購入補助
大学の Wi-Fi を使用すると電話が通じなくなることがたくさんあったので改善して頂きたいです。

学修環境、学修支援に関する改善要望 自由記載欄の内容まとめ(複数あがったもの)

学修環境に関する意見・要望	件数
空調に関すること	8 件
Wi-Fi に関すること	4 件
授業外の時間の教室使用に関すること(空き教室の使用など)	3 件

学修支援に関する意見・要望	件数
学生便覧・Blue・シラバスに関すること	2 件

7. 調査結果からの課題および今後の対策

両学部の学修行動調査結果から項目ごとに課題とその対策について以下にまとめた。

なお、満足度や活用状況が高く、課題としてとりあげる必要のないものは除いている。

1) 学修支援・学修環境に対する満足度

項目	結果概要	課題・対策
対面による学修	<p>全体の 80%以上が「とても満足」「満足」と回答している。</p> <p><b>「やや不満」と回答した割合が高かったのは 2 年生であった。</b></p> <p><b>学生からの要望(自由記載)</b></p> <p>「対面授業は自由席にしてほしい」</p> <p>「座席を指定したとして感染経路が辿りきれないわけではないので、目が見えなかったりする人などに配慮した方がよい」</p> <p>「周りがうるさくて授業に集中できない」</p> <p>等</p> <p><b>座席に関する内容が6件挙がっていた。</b></p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <p>2 年生における対面による学修への不満が高い。</p> <p>&lt;対策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次学生との対話から具体的な要望を確認する。</li> <li>・授業評価アンケートの結果をみて、それぞれの<b>授業改善に取り組む。</b></li> <li>・COVID-19 が5類感染症に移行する方針が打ち出されたことから、<b>学生の主体的学修の促進のためにも指定席の廃止、自由席とする。</b></li> </ul>
学内に設けられている自主的に学べる場の雰囲気	<p>自主的に学べる場の雰囲気や使いやすさには、75%以上が「とても満足」「満足」と回答している。</p> <p><b>約 25%(1/4)の学生が「やや不満」「不満」と回答している。</b></p>	<p>&lt;課題&gt;</p> <p>自主的に学べる場(ラーニングコモンズ、図書館、学生ホール、4F 多目的室、3F 自己学習室、2F 情報処理室)の雰囲気や利便性がよくない。</p> <p>&lt;対策&gt;</p>

<p>気や使いやすさ</p>	<p><b>学生からの要望(自由記載)</b>  「2F 情報処理室 PC すべてを印刷機に接続できるようにしてほしい」  「PC の立ち上がりが遅い」  「実習中は図書館を開けてほしい」  「図書館の空調整備」  「学生ホール   人席を明るくしてほしい」  「学生ホールの電波が悪い」  「Wi-Fi 環境を整えてほしい」  「ボックス型自習室がほしい」等の内容が挙がっていた。  <b>特に ICT 環境に関する内容は、看護学部で 10 件、現代文化学部 4 件あがっていた。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>2F 情報処理室の PC 整備(印刷機への接続、端末のメモリ増設等)を行う。</u></li> <li>・<u>図書館の開館時期(時間)の検討、空調の整備を行う。</u></li> <li>・<u>学生ホールの照明調整もしくは座席配置の工夫を行う。</u></li> <li>・<u>Wi-Fi 環境改善(2023 年 3 月に予定されている)の結果を確認する。</u></li> <li>・<u>ラーニングコモンズや自己学習室などを学生が利用しやすいように整える。</u></li> <li>・<u>学生と協力しながら環境整備をすすめていく。</u></li> <li>・<u>学生側の要望とりまとめ等話合いの窓口(担当者)を確認する。</u></li> </ul>
<p>講義教室の設備(空調・照明を含む)</p>	<p><b>看護学部約 45%、現代文化学部約 40%の学生が「やや不満」「とても不満」と回答している。</b></p> <p><b>学生からの要望(自由記載)</b>  「夏は寒くて冬は暑くなる空調をどうにかしてほしい」  「暑すぎたり寒すぎたりするのでほどよい空調管理にして欲しい」  「教室ごとの空調管理にしてほしい」等  <b>空調に関する内容が看護学部 26 件、現代文化学部 11 件と学修環境に対する要望として最も多かった。</b>  「音響も古くて、マイクが切れてしまう。講師によってはそのままマイクなしで講義を続けてしまい、学習に支障が出る」  「スクリーンが映らなくなったときの対処方法を提示しておき、学務課の人を呼ばなくてすむようにして欲しい。授業時間が削られて時間がもったいない」  「講義の途中でテレビモニターが切れることが多々あるので切れないようにしてほしい」等</p>	<p>&lt;課題&gt;  全館一斉空調、講義室の設備に対する不満が大きい。</p> <p>&lt;対策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>空調設備の整備はこれ以上困難なことから、サーキュレーターを各教室に配置する、窓の開閉を行うなど、工夫を行う。</u></li> <li>・<u>学生に対しても各自対応の協力を求める。</u></li> <li>・<u>適温が維持されるよう空調の温度設定を可能な限り工夫する。</u></li> <li>・<u>使い捨てカイロや冷却グッズを学内で購入できるようにする。</u></li> <li>・<u>マイク(音響)、テレビモニター、プロジェクター、教室用 PC などの整備を定期的(月に1度など)に行う。</u></li> <li>・<u>トラブル時の対処方法をマニュアル化しておき、新任教員の研修マニュアル等にも内容を入れるなど全教員が対応できるようにする。</u></li> <li>・<u>講義室備品(椅子や机、ホワイトボード、マーカーなど)は、前後期開始時には確認するなど、定期的に点検を行う。</u></li> <li>・<u>ホワイトボードマーカーは、年度初め各教員に配布し、それを通年利用、各教員管理とする。</u></li> </ul>

	看護学部では <u>講義室の備品に関する内容が9件挙がっていた。</u>	
--	--------------------------------------	--

2) 学修に対する学生自身の姿勢

項目	結果概要	課題・対策
出席状況	看護学部では学生の約5%、現代文化学部では約15%は <u>正当な理由なく欠席、遅刻、早退をしている</u> と回答している。 看護学部は2年生にその割合が多い。 現代文化学部は1年生にその割合が多い。	<課題> 2年生に欠席、遅刻、早退する学生が多い。 <対策> ・ <u>対話から欠席、遅刻、早退する理由について確認し、その理由ごとに対応</u> を考えていく。 ・生活に関することが要因の可能性もあるため、 <u>学生生活委員会やアドバイザーと協働しながら個々の学生に対応</u> していく。
学修に対する意欲、積極的学修への姿勢	全体の約85%以上の学生が「意欲が高く、積極的に学修している方だ」と回答している。 ただし、 <u>看護学部では2年生、現代文化学部では4年生がその割合が最も低くなっている。</u>  学生からの要望(自由記載) 「 <u>勉強の仕方や実習の進め方をひとり一人のレベルに合わせた指導をしてもらいたい</u> 」というものがあった。 また、「 <u>空調をもう少し何とかしてほしい。</u> 席によって感じ方が全く違ったり、一定に保てなかったり、 <u>学修に集中できない</u> 」「 <u>音響も古くて、マイクが切れてしまう。</u> 講師によってはそのままマイクなしで講義を続けてしまい、 <u>学習に支障が出る</u> 」「 <u>授業時間が削られて時間がもったいない</u> 」という意見もあった。 <u>学生からの要望として講義室の設備に関する内容が多かった。</u>	<課題> 看護学部では2年生、現代文化学部では学年を経ると学修に対する意欲、積極的学修への姿勢が低下していく傾向にある。 <対策> ・看護学部では、出席状況も2年生においてよくないことから、2年次における <u>学生自身が立案する学修計画(目標設定や評価)をアドバイザーを中心に見直し、計画遂行を支援</u> する。 ・現代文化学部においては、 <u>学生自身が立案する4年間の学修計画(長期計画)と年次ごとの学修計画(短期計画)等総合的に立案して見通しが持てるような支援</u> をする。 ・両学部とも <u>魅力ある学修内容となるよう授業改善に取り組む(開講科目における教員の適正配置含む)。</u> ・ <u>施設設備への不満が意欲を低下させている要因</u> とも考えられるため、 <u>設備の整備、改善</u> を行う(講義室の設備欄参照)。
他学生とのピアサポート	看護学部では約40%、現代文化学部では、 <u>約45%の学生が、他学生とは一緒に勉強することはない</u> と回答している。 看護学部1年生は他学生と一緒に勉強している割合が高い(78.5%)。	<課題> 学生同士のピアサポート体制が育っていない。 <対策> ・ <u>学生同士の関係性が影響している</u> 可能性があるため、 <u>共同学習の機会を増やすなど、他学生とともに学修する機会を提供</u> していく。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験前などに学修会のような場を設け、<u>学生同士が勉強を教え合うなどの機会を提供</u>していく。</li> <li>・特に初年次(1年生の前期)にファーストイヤーゼミのようなアドバイザー教員が担当するグループワークで行う講義を設定するなどの工夫を行う。</li> </ul>
教職員への学修相談	<p><u>看護学部は約半数、現代文化学部は約40%の学生が学修相談をしていないと回答している。</u></p> <p><b>学生からの要望(自由記載)</b>  「外部講師の先生方(聖マリの先生など)の授業内容も大学の先生方に質問できるようにしてほしい」  「外部の先生の講義は試験勉強するとき不便すぎる」等</p> <p><u>看護学部では外部講師の担当科目についてのフォローに関する内容が挙がっていた。</u></p>	<p>&lt;課題&gt; 教職員への学修相談行動が取れていない学生が多い。</p> <p>&lt;対策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各アドバイザー学生と普段から関係性を構築し、<u>相談しやすい環境を整える</u>。(相談の受け方研修の実施含む)</li> <li>・<u>学年単位で学修相談会、学修会などを開催し、アドバイザーと相性が悪い学生も自分が相談しやすい教職員に相談できる機会を提供する。</u></li> <li>・特に1年生の前期の講義などもう少し繋がりをもつような<u>環境整備を行う</u>。(例:ゼミ形式の懇談会、教員との距離感が近い環境を整備する)</li> <li>・退職された教員の学生を新しい教員に引き継ぐ際には、<u>もう少し丁寧な連携を行う</u>。</li> <li>・持病がある、経済的に困窮しているなどの事情が学業に影響を与えている可能性があるため、<u>学生生活委員会や健康サポートセンターとも必要な情報は共有し、学修支援を行うアドバイザーとの役割分担をしながら支援をしていく。</u></li> </ul>

### 3) 学修時間

項目	結果概要	課題・対策
授業に関連する学修への取り組み時間	<p><u>看護学部はほぼ半数(約55%)、現代文化学部は約83%の学生が1日1時間程度以下の学修時間であった。</u></p> <p><b>学生からの要望(自由記載)</b>  「試験日を詰めないでほしい」  「課題提出日を分散してほしい」  「時間割を調整してほしい」  「土日や全休の日に振り替え授業を入れるのはなるべく避けていただきたい」等</p> <p>看護学部では<u>試験日程に関する内容が5件、時間割の調整に関する内容が4件</u>挙がっていた。</p>	<p>&lt;課題&gt; 学生の授業の予習・復習・課題への取り組み時間が、かなり短い。</p> <p>&lt;対策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>学生が主体的に予習、復習に取り組むための工夫を行う</u>。</li> <li>・予習、復習はシラバスに記載があるが、内容と時間数が伴わないものも多いため、<u>適切な予習、復習課題を提示</u>していく。</li> <li>・<u>予習・復習もその科目の目標を達成するために必要な学修内容であることを踏まえ、評価対象とすることを検討</u>していく。</li> <li>・<u>定期試験を行う科目数、期間を検討</u>していく。</li> <li>・提出が必要な課題の提示は、1ヶ月以上前に行うなど<u>取り組み時間が詰め込みにならないよう工夫</u>する。</li> <li>・<u>学生にとって最も学修効果が高くなる時間割を検討</u>する</li> </ul>

		(遅い時間帯の講義を減らすなど)。 ・ <u>時間割の空き時間を学修時間にあてられるよう活用方法を提示する。</u>
授業に関連しない学習への取り組み時間	<u>看護学部は約60%、現代文化学部は約53%の学生が、1日10分未満の学習時間であった(つまり、<u>ほぼ学習していない</u>)。</u>  学生からの要望(自由記載) <u>「公務員試験の勉強法を教えてください」「就職対策」という内容があがっていた。</u>	<課題> 資格取得のための受験資格が得られる学部であるにもかかわらず、そのための学習への取り組み時間もかなり短い。 <対策> ・授業に対する学修も含め、 <u>学生の学習習慣が身につけていない可能性があるため、学習の機会(自己学習課題を課すなど)の提供</u> を検討する。 ・キャリア支援センターと協力して、 <u>就職試験対策講座等の定期開催</u> を検討する。 ・看護学部は、 <u>国家試験対策の強化</u> を検討する。

4) 学修をすすめるために活用している資源

項目	結果概要	課題・対策
学生便覧の活用状況	<u>看護学部では約30%、現代文化学部では約20%の学生が学生便覧を活用していないと回答している。</u> <u>両学部とも「ときどき活用している」と回答した学生が最も多かった。</u>	<課題> 学生便覧を活用する学生が少ない(ときどき活用する学生の活用を増やす)。 <対策> ・ <u>使いにくい点を学生からヒアリング</u> するなど、 <u>活用促進のため、学生の意見を反映</u> させる。 ・ <u>学生側の窓口(担当者)を確認</u> する。
Blueの活用状況	概ね活用されているが、 <u>約10%強の学生が「全く活用していない」と回答している。</u>	<課題> 全く活用していない学生が約10%強いる。 <対策> ・ <u>具体的な活用方法のガイダンス</u> を行う。 ・ <u>具体的な活用方法のマニュアル(動画も活用)を作成し、いつでも確認しながら活用できるようにする。</u>
ラーニング・ポートフォリオの活用状況	<u>看護学部では約45%、現代文化学部では下級生を中心に約40%の学生が活用できていないと回答している。</u>	<課題> ラーニング・ポートフォリオを活用する学生が少ない(約半数の学生しか活用できていない)。 <対策> ・ <u>ラーニング・ポートフォリオのメリット(活用方法)を具体的に提示</u> していく。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ディプロマサプリメントと合わせて、ショーケースの役割を強化していく。</u></li> <li>・<u>e-ポートフォリオの開発を検討する。</u></li> <li>・<u>成績と連動するシステム開発を検討する。</u></li> <li>・<u>教職員側もラーニング・ポートフォリオを活用する機会(研修を含む)を増やす。</u></li> </ul>
シラバスの活用状況	<p><u>シラバスをよく活用できている学生は約40～50%にとどまっている。</u>ときどき活用している学生が最も多く、約30～35%であった。</p> <p>学生からの要望(自由記載)  <u>「Web上のシラバスが見にくい」</u>  <u>「以前のように配布してほしい」</u>  <u>「見たい科目にすぐに飛べないので探しにくい」</u>などの内容が挙がっていた。</p>	<p>&lt;課題&gt; シラバスを活用する学生が少ない(約半数の学生しか活用できていない)。</p> <p>&lt;対策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>Web上シラバスの見やすさ(見たい科目の探しやすさ)を改善する(システム改善を検討する)。</u></li> <li>・学生にも<u>目次機能の使い方など丁寧なアナウンス</u>をしていく。</li> <li>・<u>ラーニング・ポートフォリオと連動させて、履修科目の情報は、学生ごとにファイル管理</u>できるようにする(システム改善を検討する)。</li> <li>・<u>前期初回のアドバイザー面談の際に、履修科目登録確認とともに、シラバスをファイリング</u>していく。</li> </ul>

#### 5) 学修をすすめるために利用している学内施設

一般的にあまり利用されていないため、その要因について学生からヒアリングする、教員側が意図的に施設を活用するなど、利用率をあげるための方策を考えていく必要がある。

項目	結果概要	課題・対策
図書館の利用状況 (蔵書利用、3F第2閲覧室)	<p>蔵書利用は、看護学部では全体の50%以上、現代文化学部では約30%の学生が「あまり利用していない」「ほとんど利用していない」「まったく利用していない」と回答していた。</p> <p>閲覧室利用は、看護学部では全体の約60%、現代文化学部では約35%の学生が「あまり利用していない」「ほとんど利用していない」「まったく利用していない」と回答していた。</p> <p>学生からの要望(自由記載)  <u>「実習中に図書館が閉まっていたので、実習中はあけてほしい」</u></p>	<p>&lt;課題&gt; 図書館を利用する学生がとても少ない。</p> <p>&lt;対策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>図書館・学術運営委員会と協力して、蔵書内容や利用率向上の工夫</u>を検討する。</li> <li>・<u>利用しない理由を学生からヒアリング</u>するなど、<u>利用促進のため、学生の意見を反映</u>させる。</li> <li>・<u>学生側の窓口(担当者)を確認</u>する。</li> <li>・<u>開館時期(時間)の検討、学生ホールなどに特設ブース</u>を設けるなど、<u>学生が利用しやすい環境を整える</u>。</li> <li>・<u>教員側が意図的に学生に図書館を利用させる工夫</u>をする。</li> </ul>

<p>ラーニング コモンズの 利用状況 (図書館2 F 第3閲覧 室、学食左 手手前ス ペース)</p>	<p>ラーニングコモンズ1,2とも看護学部で約80%、現代文化学部で約50~60%の学生が「あまり利用していない」「ほとんど利用していない」「まったく利用していない」と回答していた。</p> <p>学生からの要望(自由記載) <u>「図書館2階第3閲覧室の暖房が効きすぎて頭痛がすることがある。換気扇、あるいは換気扇の代わりになるようなものがほしい」</u></p>	<p>&lt;課題&gt; ラーニングコモンズを利用する学生がとても少ない(看護学部ではほとんど利用されていない)。</p> <p>&lt;対策&gt; ・認知度が低い可能性があるため、ラーニングコモンズの存在を知ってもらうよう<u>ガイダンスで案内</u>をしたり、<u>掲示板を作成</u>するなど<u>認知度を上げる工夫</u>を行う。 ・学生同士と一緒に学修する機会があまく多くないため、利用されていない可能性もあることから、学生同士による主体的な学修をすすめられるよう、<u>学修相談会をラーニングコモンズで開催することなどを検討</u>する。 ・<u>施設設備への不満が利用しない要因</u>とも考えられるため、<u>設備の整備、改善</u>を行う(講義室の設備欄参照)。 ・<u>学生と協力しながら環境整備</u>をすすめていく。 ・<u>学生側の要望とりまとめ等話合いの窓口(担当者)を確認</u>する。</p>
<p>4F 多目的 室 3F 自己学 習室の利 用状況</p>	<p>4F 多目的室は、看護学部で約80%、現代文化学部で約60~70%の学生が「あまり利用していない」「ほとんど利用していない」「まったく利用していない」と回答していた。</p> <p>学生からの意見(自由記載) <u>「4F 多目的室の場所がわからず、その教室で勉強していいことを知らなかった」</u></p>	<p>&lt;課題&gt; 4F 多目的室、3F 自己学習室がほとんど利用されていない。</p> <p>&lt;対策&gt; ・認知度が低い可能性があるため、存在を知ってもらうよう<u>ガイダンスで案内</u>をしたり、<u>掲示板を作成</u>するなど<u>認知度を上げる工夫</u>を行う。 ・<u>施設設備への不満が利用しない要因</u>とも考えられるため、<u>設備の整備、改善</u>を行う(講義室の設備欄参照)。 ・<u>学生と協力しながら環境整備</u>をすすめていく。 ・<u>学生側の要望とりまとめ等話合いの窓口(担当者)を確認</u>する。</p>
<p>2F 情報処 理室の利 用状況</p>	<p>看護学部では、半数以上の学生、現代学部でも約半数の学生が「あまり利用していない」「ほとんど利用していない」「まったく利用していない」と回答していた。</p> <p>学生からの要望(自由記載) <u>「パソコンを新しくしてほしい」</u> <u>「入学して初めてパソコン室でコピーをする時、セキュアプリントにしてからコピーをするやり方が分からなかったので、初めに教えて貰えたら嬉しいです」</u></p>	<p>&lt;課題&gt; 2F 情報処理室を利用する学生が少ない。</p> <p>&lt;対策&gt; ・<u>施設設備への不満が利用しない要因</u>とも考えられるため、<u>設備の整備、改善</u>を行う(講義室の設備欄参照)。 ・<u>印刷機の利用状況について把握</u>していく。 ・<u>学生と協力しながら環境整備</u>をすすめていく。 ・<u>学生側の要望とりまとめ等話合いの窓口(担当者)を確認</u>する。</p>

	<p><u>「パソコンの立ち上げが遅い」</u> <u>「2階のPCルームのPCを全て印刷</u> <u>機に接続できるようにして欲しい」等</u> <u>ICT機器についての内容</u>が挙がって いた。</p>	
--	---	--